

2026年4月26日

神戸大学ラグビー部 OB 会事務局 遠藤

神戸大学ラグビー部 OB 会 総会開催要項

- (1) 日時 : 4月26日(日) 9:30~12:00
(13:00より深江キャンパス食堂で懇親会)
- (2) 場所 : 神戸大学深江キャンパス 梅木Yホール
- (3) 式次第: 進行)遠藤
- 1) 亡くなったOBへの黙とう
 - 2) 総会の成立確認
 - 3) 議事討議
- (4) 出席予定者 : 40名(内1名、オンライン参加)
- (5) 議案

	議案【承認】or【報告】	説明者	時間
1	2025年度OB会活動報告及び2026年度活動方針【承認】	坂下会長	9:30~9:40
2	2026年度組織改編と理事の選出【承認】	坂下会長	9:40~9:50
3	現役チームの活動状況【報告】	畑中共同主将 左村共同主将 桑田監督 磯江理事 小松理事 山口理事	9:50~11:15
-	休憩	-	11:15~11:25
4	2025年度決算(年会費)【承認】	遠藤	11:25~11:35
5	2026年度予算案(年会費)と年会費およびOB会規約の変更【承認】	遠藤	11:35~12:00
6	東京支部活動状況【報告】	鬼丸理事	12:00~12:05
7	広報・コミュニケーション委員会活動状況【報告】	川北理事	12:05~12:15
8	OB会活性化プロジェクト活動状況【報告】	大野副会長	12:15~12:25
9	芝生化推進委員会活動状況【報告】	田中顧問	12:25~12:30
10	2025年度神戸大学基金収支【報告】	遠藤	12:30~12:35
11	今後の深江G芝生維持管理について【承認】	遠藤	12:35~12:45
12	事務局からのお知らせ	遠藤	12:45~12:50

* 議案1、2、4、5、11はOB会総会における承認事項

以上

【議案1】 2025 年度 OB 会活動報告及び 2026 年度活動方針

OB 会会長 坂下清信

2025 年度 OB 会活動報告

新会長として前会長の方針「組織による OB 会の運営」と「現役との距離を縮め現役に寄り添うサポート体制の構築」を継承し、活動を行いました。

残念ながら、現役チームは B リーグ 12 チーム中 11 位、C リーグ降格という結果となりましたが、OB 会としては上記方針を踏まえ、昨年までと同様のサポートに加え、以下の 3 つの新たな活動を実施しました。

- ① OB 会活性化プロジェクトの創設 ⇒(目的:世代間・現役との交流促進)
- ② 組織的な芝生管理体制の構築 ⇒(目的:属人的運営管理からの脱却)
- ③ 広報・コミュニケーション活動の強化 ⇒(OB 間のつながり強化)

OB 会の目的は「OB 間の懇親の場」もありますが、一方では「現役を物心両面でサポートし、現役チームの強化につなげることに」あると考えています。その基礎となる会費収入は OB 会の皆さまのご協力を頂き、昨年並みを維持することができました。心より感謝申し上げます。

しかしながら、神戸大学と同等の大学に打ち勝ち、B リーグの上位を維持するレベルになるためには、チーム強化の資金がまだまだ不足することが明らかになってきました。

さらに、芝生の維持管理費が想定以上に必要となってきました。2018 年に芝生化が完成して以来、この間の酷暑や使用過多の影響等があり、部分的に修復作業(張り替え作業)も行っており、相応の費用が発生しています。この状況は今後とも続きます。

これらの課題につきまして皆さまと良く協議し、2026 年度から早急に対応していきたいと考えています。

2026 年度活動方針

2026 年度は現役が C リーグスタートであり、OB 会としては B リーグ復帰を目指し『本気』で現役サポートを行わなければなりません。来シーズンが勝負です。

その前提として、当然ながら現役チームの『本気度』が重要となります。これについては、新4年生の首脳陣から下記のコミットを既に受けています。後ほど直接、現役の言葉で表明してもらいます。

スローガン:『覚悟』 目標:『C リーグ優勝と B リーグ復帰』

一方、技術的なサポートは「現役コーチ陣と監督に任せる」として、OB 会は「練習環境整備と試合分析支援」に注力したいと考えます。

チーム強化のための練習環境と言っても幅広くあります。もちろん前年度から維持費が課題となっている芝生グラウンドはその最たるものですが、フィットネス向上のための機器整備や専門家による指導、怪我・故障の最小化に資するトレーナーとの契約、練習精度向上のための分析システムの導入などです。

これらには多額の資金が必要となり、現行の定例の年会費のみに頼っている資金規模では到底、間に合いません。この資金獲得のために OB 会の活性化を図り、年会費の増収に努めることは勿論のことですが、下記の項目等を早急に検討し、結論を得て実行しなければなりません。

- ① 税制優遇が得られる恒久の寄付制度
- ② 会報や HP での広告収入
- ③ スポンサー企業(OB 会のメンバーを基本とする)探し
- ④ 年会費の値上げ

また、「組織による OB 会の運営」を更に進化させることを目的として、組織変更に取り組み、役割分担と責任の明確化を図ります。

現役の『本気度』を受け、OB 会の皆さまにも『本気』のご協力をお願いします。

【議案2】 2026 年度組織改編と理事の選出

OB 会会長 坂下清信

(1) 理事選出の骨子

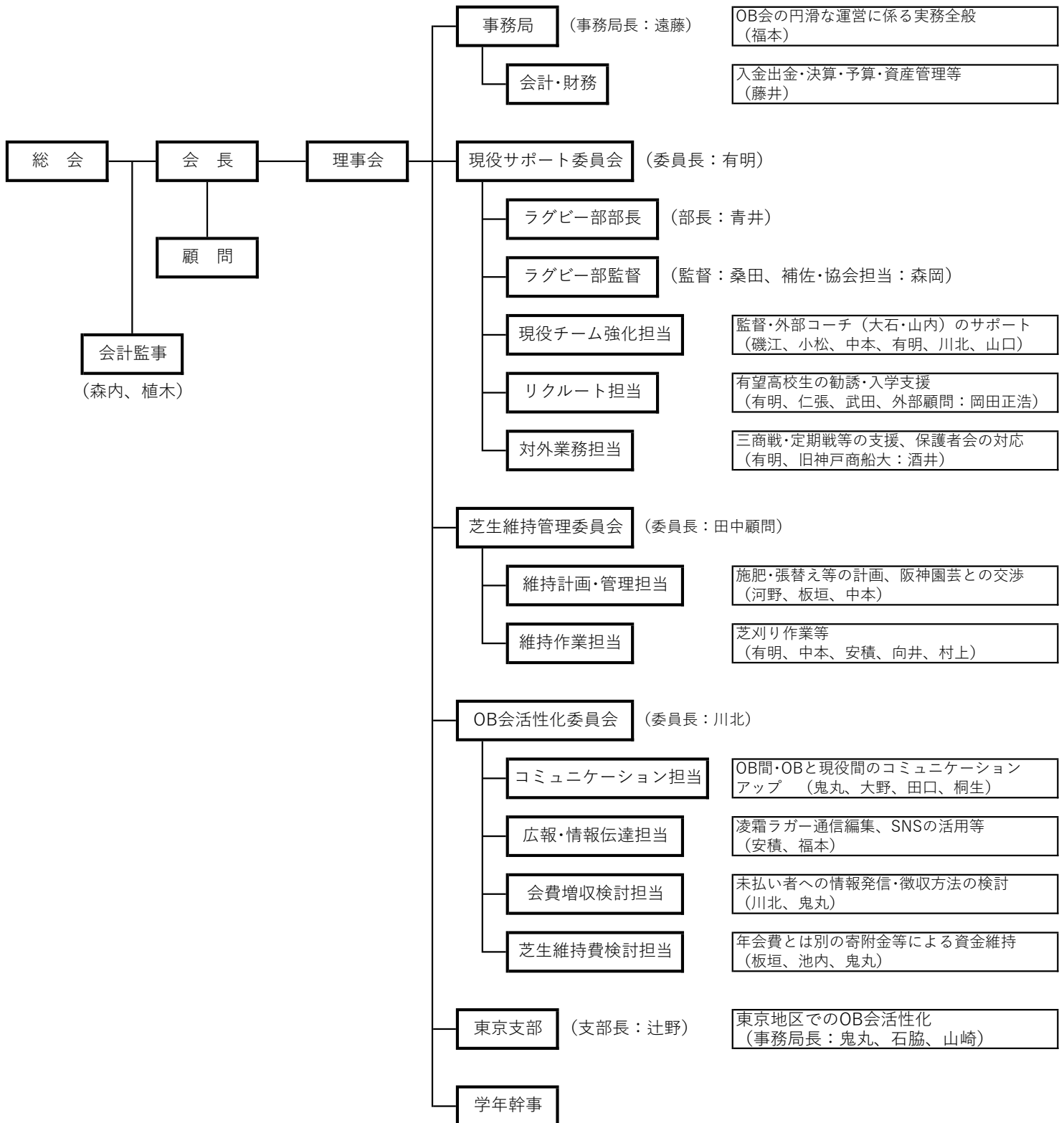
- ・基本的に今期は非改選期(2024 年に就任した理事が改選対象)
- ・2024 年に就任の理事の任期は 2024 年総会～2026 年総会の 2 年間
- ・2025 年に選出の理事及び担当理事の任期は 2025 年総会～2027 年総会の 2 年間
- ・担当理事は理事会で選出できる(OB 会規約第9条)が、現在は人数が増加したため、理事と一緒に OB 総会で承認

(2) 理事の改選案

		△は 2024 年就任理事	☆は担当理事	担当の変更
理事	氏名	2025 年度理事		2026 年度改選案
会長	坂下清信(S57 卒)	会長		同左
副会長	辻野智己(S56 卒)	副会長 東京支部支部長		同左
副会長	大野慎治(S63 卒) △	副会長 OB 会活性化プロジェクト		副会長 OB 会活性化プロジェクト解除
理事	安中一雄(S32 卒)			
理事	国沢健一(S40 卒)			
理事	田畑芳彦(S43 卒)			
理事	河野雄造(S52 卒)	☆ 芝生化推進委員		☆ 芝生維持管理委員
理事	磯江憲夫(S53 卒)	☆ 現役チーム GM		☆ 現役サポート委員
理事	酒井亮一(S54 卒)	☆ 旧神戸商船大OB窓口		☆ 同左
理事	小松規秀(S54 卒)	☆ 現役チーム強化支援		☆ 現役サポート委員
理事	池内 宏(S55 卒)	☆ OB 会活性化プロジェクト		☆ OB 会活性化委員
理事	板垣 毅(S55 卒)	☆ 芝生化推進委員		☆ 芝生維持管理委員 OB 会活性化委員
理事	有明志郎(S57 卒)	現役チーム後援会 ☆ 三商大等他大学連携 現役部員リクルート		☆ 現役サポート委員会委員長 芝生維持管理委員
理事	中本和夫(S57 卒)	☆ 現役チーム強化支援		☆ 現役サポート委員 芝生維持管理委員
理事	仁張正之(S58 卒)	☆ 現役部員リクルート		☆ 現役サポート委員
理事	向井孝博(S58 卒)	☆ 芝生化推進委員		☆ 芝生維持管理委員
理事	国本温代(S58 卒) △	☆ 現役部員リクルート		☆ 現役サポート委員
理事	遠藤 勉(S60 卒)	☆ 事務局長		☆ 同左
理事	鬼丸省一(S62 卒)	☆ 東京支部事務局長		☆ 東京支部事務局長 OB 会活性化委員
理事	藤井貞男(S62 卒)	☆ 会計・財務		☆ 同左(事務局員)
理事	福本裕郁(S63 卒) △	☆ 凌霜ラガー通信編集 芝生化推進委員		☆ 凌霜ラガー通信編集 事務局員
理事	森岡礼次(H1 卒)	☆ 監督補佐(協会担当)		☆ 監督補佐(協会担当) 現役サポート委員
理事	石脇健二郎(H2 卒) △	東京支部		同左
理事	田口慎太郎(H17 卒)	☆ OB 会活性化プロジェクト		☆ OB 会活性化委員
理事	山崎 祐(H18 卒) △	東京支部		同左
理事	桑田雅也(R4 卒) △	☆ 現役チーム監督		☆ 現役チーム監督 現役サポート委員
理事	川北登志雄(S57 卒)	☆ 広報・コミュニケーション委員会 委員長		☆ OB 会活性化委員会委員長
理事	安積英幸(S57 卒)	☆ 広報・コミュニケーション委員会 ホームページ担当		☆ OB 会活性化委員
理事	山口 基(S61 卒)	☆ 現役チーム強化支援		☆ 現役サポート委員
理事	桐生宗明(H19 卒)	☆ OB 会活性化プロジェクト		☆ OB 会活性化委員

(3) 2026年度組織改編

- ・「芝生化推進委員会」を「芝生維持管理委員会」に改称
- ・「OB会活性化プロジェクト」を「OB会活性化委員会」に改称
- ・「現役チーム強化支援」を「現役サポート委員会」に改称
- ・「広報・コミュニケーション委員会」を「OB会活性化委員会」に統合
- ・名称を「委員会」に統一



(参考) 理事を除く役員一覧

会計監事

S56卒	森内 敏晴
S63卒	植木 心一

顧問

瀧川 好夫(元ラグビー部部長)	
子安 武(元OB会会長、S29卒)	
平山 洋介(前ラグビー部部長、S56卒)	
田中 計久(前OB会会長、S53卒)	芝生維持管理委員会委員長
岡田 正浩(有力高校・高専のリクルート)*	*立命館大卒OB

学年幹事

S29卒	子安 武	S56卒	森内 敏晴	H16卒	金田 芳典
S32卒	安中 一雄	S57卒	天知 吾郎	H17卒	田口慎太郎
S34卒	野村 康治	S58卒	仁張 正之	H18卒	高橋 俊亮
S35卒	多々見道雄	S59卒	三森 啓章	H19卒	桐生 宗明
S37卒	平井 匠	S60卒	森岡 秀文	H20卒	脇田 卓郎
S38卒	竹添 修一	S61卒	向井 昌博	H21卒	河合 祐二
S39卒	松下 忠男	S62卒	岡田 功	H22卒	林 知志
S40卒	国澤 健一	S63卒	福本 裕郁	H23卒	縄船 恭志
S41卒	松村 泰治	H1卒	石井 慎二	H24卒	元嶋 政太
S42卒	向井 勝	H2卒	吉田 圭吾	H25卒	藁科 周平
S43卒	田畑 芳彦	H3卒	渡辺 敬倫	H26卒	福森伸太郎
S44卒	野中 克己	H4卒	諏訪 正樹	H27卒	森山 和貴
S45卒	和田 博行	H5卒	三宅 靖	H28卒	中原 宏介
S46卒	鷹尾 昌弘	H6卒	湯地 努	H29卒	西田 貴洋
S47卒	尾上 二郎	H7卒	堀 祐介	H30卒	中谷 駿太
		H8卒	辻 一典	H31卒	中島 悠輔
S49卒	田中 俊明	H9卒	船越弘一郎	R2卒	金田 亘平
S50卒	森田 幸一	H10卒	光村 孝仁	R3卒	三輪 侑史
S51卒	松井 健	H11卒	赤澤 栄信	R4卒	山内 智大
S52卒	木村 勇治	H12卒	豊川 貴也	R5卒	西 悠太
S53卒	磯江 憲夫	H13卒	見先 俊弘	R6卒	伊藤 一真
S54卒	小松 規秀	H14卒	古川 武	R7卒	南 俊輔
S55卒	杉本 文雄	H15卒	梶川 洋平	R8卒	陶山 翔翼

神戸大学ラグビー部部長

青井 貴之(H8卒)	神戸大学大学院医学研究科教授
------------	----------------



KOBE UNIVERSITY

RUGBY FOOT BALL CLUB

ALUMNI ASSOCIATION

神戸大学ラグビー部OB会理事会

現役'25年度活動の振り返り と '26年度強化方向性

2026年4月26日

神戸大学ラグビー部
磯江憲夫



KOBE UNIVERSITY
RUGBY FOOT BALL CLUB
ALUMNI ASSOCIATION

2026/02/24
Norio Isoe

'25 神戸大ラグビー部方向性と結果

スローガン
OVERCOME

打ち勝つ

Was overcome

目標

リーグ戦5勝以上

'24 3勝を大きく上回る

2勝5敗
Bリーグ11位

部員獲得目標

20名+5名

▼
新1回生7名、
新2回生2名、
マネージャー4名、
カメラマン 1名
合計 9名+5名

OVERCOME

Supported by

“力積ラグビー”: $Ft = Mv + OB$ 会徹底サポート

(F :パワー × t :時間) = (M :質量 × v :速度)

ラグビーを科学する



'25年度神戸大学ラグビー部戦績

スローガン:「**OVERCOME**」、目標: **Bリーグ5勝以上、獲得部員: 20+5名**

Dateri	対戦校	スコア	グラウンド	備考
3/23/25	vs 大阪学院大	● 14-38 (7-26, 7-12)	@深江G	練習試合
4/20/25	vs 大阪大	○ 57-21 (43-0, 14-21)	@深江G	練習試合
5/04/25	vs 東京海洋大	○ 118 -05 (64-5, 54-0)	@東京海洋大G	定期戦(定期戦史上初100点越え)
5/18/25	vs 甲南大→延期		@深江G	定期戦(甲南大負傷者多く延期へ)
5/25/25	vs 大阪経済大	○ 48-42 (36-0, 12-42)	@大阪経済大G	練習試合
6/15/25	vs 神戸市外大	○ 59-05 (33-5, 26-0)	@深江G	練習試合
6/22/25	vs 大阪公立大	○ 38-12 (21-7, 17-5)	@深江G	三商大戦
7/6/25	vs 大阪産業大	● 0-60 (0-17, 0-43)	@深江G	練習試合
7/20/25	vs 神戸学院大	○ 38-14 (19-0, 19-14)	@深江G	練習試合
8/20/25	vs 玉川大	○ 33-14 (26-0, 7-14)	@菅平 #73 (PK □-カール)	練習試合 合宿
8/21/25	vs 桜美林大	○ 21-7	@菅平 #54 (10,22,5 白線無)	練習試合 合宿 (1st Halfのみ)
8/21/25	vs 東京都立大	○ 26-14 (19-0, 7-14)	@菅平 #54	練習試合 合宿(30分ハーフ)
8/23/25	Vs 順天堂大	○ 52-10 (28-5, 24-5)	@菅平 #16	練習試合 合宿(30分ハーフ)
9/21/25	vs 大阪経済大	● 17-66 (5-33, 12-33)	@甲南大G	リーグ戦 1次リーグ
9/28/25	vs 大阪大	○ 40-21 (14-0, 26-21)	@大阪大G	リーグ戦 1次リーグ
10/12/25	vs 大阪国際大	● 10-47 (5-26, 5-21)	@大阪大G	リーグ戦 1次リーグ
10/19/25	vs 龍谷大	● 0-114 (0-50, 0-64)	@甲南大G	リーグ戦 1次リーグ
11/2/95	vs 追手門学院大	● 27-76 (7-26, 20-50)	@甲南大G	リーグ戦 1次リーグ B2リーグ5位(6校)
11/23/25	vs 関西外国語大	● 26-29 (7-15, 19-14)	@大阪大G	リーグ戦 順位決定戦
11/30/25	Vs 大阪教育大	○ 29-22 (24-17, 5-5)	@関西外国語大G	リーグ戦 順位決定戦 Bリーグ11位(12校)
12/20/25	vs 一橋大	● 26-31 (12-7, 14-24)	@深江G	三商大戦 2位

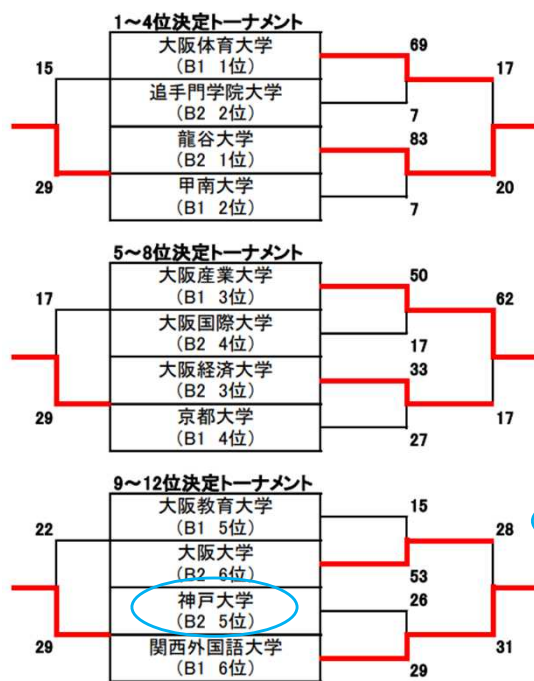
'25年度Bリーグ 戦2勝5敗 勝率 **28.6%**←42.9%, Bリーグ **11位**(12校中)←6位、三商大戦**2位**←1位



'25年度関西大学ラグビーBリーグ結果

【最終順位】

- 1位 龍谷大学,
- 2位 大阪体育大学
- 3位 甲南大学
- 4位 追手門学院大学
- 5位 大阪産業大学
- 6位 大阪経済大学
- 7位 京都大学
- 8位 大阪国際大学
- 9位 関西外国語大学
- 10位 大阪大学
- 11位 神戸大学
- 12位 大阪教育大学



B1リーグ							勝	負	分	得失点	勝点	順位
大 体 大	大 産 大	大 京 都 大	大 大 教 大	大 甲 南 大	大 関 西 外 大							
大阪体育大学	○	○	○	○	○	5	0	0	318	25	1	
大阪産業大学	●	○	○	●	○	3	2	0	101	14	3	
京都大学	●	●	○	●	○	2	3	0	68	12	4	
大阪教育大学	●	●	●	●	○	1	4	0	-203	4	5	
甲南大学	●	○	○	○	○	4	1	0	49	18	2	
関西外国語大学	●	●	●	●	○	0	5	0	-333	0	6	

B2リーグ							勝	負	分	得失点	勝点	順位
龍 谷 大	大 国 大	大 神 戸 大	大 追 手 門	大 大 阪 大	大 大 経 大							
龍谷大学	○	○	○	○	○	5	0	0	457	25	1	
大阪国際大学	●	○	○	●	●	2	3	0	-58	10	4	
神戸大学	○	●	●	○	●	1	4	0	-230	5	5	
追手門学院大学	●	●	○	○	○	3	2	0	-13	15	2	
大阪大学	●	○	●	●	●	1	4	0	-196	4	6	
大阪経済大学	●	○	○	●	○	3	2	0	40	15	3	

B2リーグ6校中5位。順位決定トーナメントの結果、Bリーグ11位に。



'25年度の活動とリーグ戦結果と背景

入リーグをOVERCOME、目標リーグ戦5勝以上、獲得部員20+5名

[結果]:陶山主将のリーダーシップの下、現役はベストを尽くすも、リーグ戦直前のFW陣怪我人続出が響き、

- ➔ B2リーグ6校中**5**位に。順位決定戦の結果、**Bリーグ11**位が確定。残念ながら、'26年度Bリーグ校数変更(12チーム→8チームに削減)により、'26年度は**Cリーグ**からのスタートに。
- ➔ 三商大戦**2**位。

1. 部員数増数:インスタ、X、FB等最新のSNSを駆使し、大学生、高校生、高専生、新入生、在校生、他運動部まで幅広く勧誘。➔1回生**7**名、2回生**2**名、マネージャー**4**名、カメラマン**1**名 計**14**名と25名に届かず。外国籍1名(Fiji)が入部するも、コミュニケーションとフジ加に難あり、又、トレーニング不足もあり、本人負傷を避ける為、戦力化せず。

➔**ラグビー経験者獲得を増す要あり。**

(参考)京大は5回生、6回生、M1、M2が試合に出場し、未経験者、低学年のラグビー経験不足を補っている。

- △ ● **高校生勧誘隊を組織**
- ● **新勧メディアを駆使**～ヒラ、新勧Twitter、新勧Instaの作成、HPで新入学生にアプローチ。
- ● **多彩な新勧活動:**新勧祭(六甲台、深江キャンパス)、練習体験、TF大会、リーグワン観戦、マネ新勧ビュウ大会等々。
- ● **大学教務課:**新入学生資料への勧誘資料の**同封**と配布を実施。
- △ ● **勧誘幅の拡大:**高校だけでなく、**高専、大学**(編入学希望者の獲得)へ勧誘対象校を拡大へ。+神戸大学内の**他運動部**(アメフト)からもリクルートへ。
- △ ● **部員卒業高校ラグビー部へのアプローチ:**勧誘レター送付、訪問活動、
- ● **定期戦勧誘**(兵庫、神戸、天王寺他) →しかしリクルートに失敗。神大アメフト、京大ラに学生を取られた。
- × ● 大阪三公立高(茨木・天王寺・高津)合練勧誘中。
- × ● **有力高校生発掘:**KOBELCO CUPフォローアップ、**九州公立高校、高専訪問**(部員出身校+a)
- △ ● **近隣高校へのラグビーボール寄付活動の継続**



'25年度の活動とリーグ戦結果と背景

2. FW体重増強とスクラム強化:

- 昨夏は猛暑で食欲が減退し、体重増加プログラムが停滞。→ 対策改善の要あり。
- **フロントロー経験者が少なく、未経験者育成も間に合わない**→。'24の6名は1年生から1名退部、2名卒業、'25は1年生が3人に半減。AとBの差が大きく、前後半交代で一気に戦力ダウン。又、龍谷大戦、追手門学院大戦は骨折、腰痛、体調不良で正プロップが出場出来ず、セットスクラム大敗の要因となった。
- ➔ **フロントローの獲得&育成が急務。**
- **体重増強プログラムの継続:** '23に600kg台だったFW8人合計体重が'24,'25は700kg台を越えたが、Bリーグ上位チームは700kg台後半~800kg台。'26年度も同プログラム(4000K摂取)を継続し、750kg台を目指す。
- +山内コーチによる的確なスクラムワーク指導で、Bリーグ上位に通用するスクラムを組む。

3. フィットネス(パワーと持久力)向上と怪我・故障の最小化:

- ● **トレーニング環境充実:** 機器充実を継続し、場所の確保。
- △ ● **トレーナー招請:** ~ 渡辺整骨院 トレーニング指導を2025も継続、全部員のパワーアップへ。
→ ただ、高校時代までラグビー浸けの**私大ラグビー部員との筋力差が中々埋まらない。**
- × ● **黒田先生講義。**
- × ● **Dr. 山口 (明和病院整形外科部長) セミナー:** 怪我故障対応 & 予防知識の周知徹底と実施。→実施出来ず。

4. 全部員ラグビー知の底上げ: △

- △ ● ラグビーは物理(力積)と数学(確率)のスポーツ。プレイヤーの速度V、体重M、パワーV、タイム、を物理的にイメージし、プレーの明確化を図る。**「力積ラグビー」 $Ft = MV$** と得点に結びつく確率の高いプレー**→ラグビーを科学する**
- ● 神戸大学ラグビー部に最適な**戦術・戦略・練習方法の立案・習得・実践:** (大石)
 - LINEで試合録画を部員で共有し学生間反省会の実施→ ミスの再発防止と、良いプレーの共有へ。
 - **小松強化委員のデータ&数値化された試合分析結果と、中本強化委員のゲーム記録のフィードバック**を次戦に活用。
 - 大石、山内両コーチ、桑田監督による、BKとFW最新指導の徹底、
- △ ● ラグビー初心者(未経験者)の**基礎プレーの向上、常識、定石の体得**。各部員の**無駄な反則を無くす。**
- × ● ルール最新情報入手と部員へのシェア。→試合中のルールとレフェリーへの対応能力の向上へ。
- × ● 神戸大学がAリーグ時代に、**Aリーグでプレーをご経験されたOBの経験談**を聞く機会を設ける。



'25年度の活動とリーグ戦結果と背景

5. 良質な練習環境の提供:トレーニングルーム、クラブルームの完成、芝Gの整備、スクラムシン他備品購入実現。

6. 現役/OBの緊密なコミュニケーション:現役・OB面着運営会議の継続実施により、OBが現役要望にTPOで応えるキメ細かなOB支援が可能に。

7. 地域貢献:

- ●深江カレー（深江駅周辺清掃活動に共鳴）との提携 ～カレー割引、顧客誘致協力、チームTシャツにロゴを表示。
→'25 11月度より、**神戸大学ラグビー部特別メニュー**をご提供頂いている。
- × ●深江駅周辺清掃活動：海神会から2025年3月24日午前、深江キャンパス交流棟で表彰へ。
- × ●ラグビー・スクール支援検討：芦屋ラグビー・スクール活動支援（小学生への指導、深江グラウンドでの練習他）

×8. 国際化へ始動:

●**Oxford大学遠征:**2024年度神戸大へのOxford大からの留学生の縁で、Oxford大へ遠征しテストマッチの可能性が出て来た。約50万円/人の旅費が予想されるが、ラグビー起源の世界屈指名門大との定期戦開始の千載一遇の機会。検討を提案したい。

●**海外企業訪問研修:**'24年2月に有志学生を募り、NY/NJ米国企業研修を実施、参加学生が国際経験を積む絶好の機会となった。神戸大学ラグビー部ならではの将来の研修プログラム化への検討を提案したい。

×9. **その他:** シャカカチBoon Boonプロジェクトに落選。



KOBE UNIVERSITY
RUGBY FOOT BALL CLUB
ALUMNI ASSOCIATION

深江芝Gの修復状況と計画

2026/04/26
Norio Isoe

2018年10月8日



2025年
4月20日
のグラウンド
状態(ボロボロ)



2025年
10月11日
のグラウンド
状態
(かなり回復)



2025年
12月20日
しかし又地肌が...



芝生化委員会の懸命の努力
使用禁止,芝生養生,
外部G使用, 除草剤散布,
化成肥料散布,芝生 & 土搬入,
芝生張替,スプリンクラー修理,
毎週芝刈り他 により、ここまで
回復させる事が出来た。芝生化委員
会に感謝！'26年度からは芝生養生
スケジュールと練習スケジュールをシンクロ
させ、健全な芝生状態の維持継続へ。

ご支援のお願い

2026年 深江G芝生張替作業計画

西 東
グラウンド 野球場



◎：重点的に ○：作業可 △：調整により作業可 ×：作業不可

使用予定	芝生の床作り	エアレーション	芝生の床作り	使用予定
04/29 9 全学ラグビー	△	△	×	8 軟式野球部
12 ↓	△	△	×	↓
	○	○	×	14 外部団体
	○	○	×	↓
	○	○	×	18 ↓
04/30	芝生の床作り	エアレーション	切出し	
	○	○	◎	
	○	○	◎	
	○	○	◎	
17 医学ラグビー	△	△	◎	
20 ↓	△	△	◎	
05/01	切出し・張替	転圧・目砂・施肥	芝生張替	
作業現役主体	○	○	◎	
↓	○	○	◎	
	○	○	◎	
	○	○	×	15 医学準硬式
	○	○	×	20 ↓
05/02	切出し・張替	転圧・目砂・施肥	作業	
作業OB主体	◎	◎	×	9 軟式野球部
↓	◎	◎	×	↓
	◎	◎	×	↓
	◎	◎	×	↓
	◎	◎	×	17 ↓

全面使用：外野まで使うという意味かと



'26 神戸大学ラグビー部強化方向性

スローガン

覚悟

人生で、一番本気な時間を。

目標

Cリーグ優勝、Bリーグ復帰

“力積ラグビー”: $Ft = Mv + OB$ 会徹底サポート
(F :パワー \times t :時間) = (M :質量 \times v :速度)

ラグビーを科学する



KOBE UNIVERSITY
RUGBY FOOT BALL CLUB
ALUMNI ASSOCIATION

2026/04/26
Norio Isoe

'26 神戸大学ラグビー部強化方向性

～基本強化方針の継続と'25年度反省点の改善～

[基本概念]:神戸大学ラグビー部 ブランドのブランド価値最大化を図る

[今季方向性]:Aリーグ;覚悟、目標; Cリーグ優勝、Bリーグ復帰。

1. 部員数増数、
2. FWの体重増強とスクラム強化、
3. フィットネス(パワーと持久力)向上と怪我・故障の最小化、
4. 全部員ラグビー知の底上げ、
5. 良質な練習環境の提供、
6. 現役/OBの緊密なコミュニケーション、
7. 地域貢献
8. 国際化へ始動

[中長期]:

- 継続的新入部員確保体制の確立:
- 定期戦の充実:
- 現役指導体制の充実と継続:
- 4回生就職支援:
- 国際化推進:
- OB会会費支払い率の更なる向上:
- 環境整備:
- Aリーグ復帰、大学選手権出場、花園or秩父宮or国立で商神斉唱



'26 神戸大学ラグビー部強化方向性

1. 部員数増数：→ラグビー経験者獲得を増す。

- 高校生勧誘隊の活性化
- 新勧メディアを駆使～ビラ、新勧Twitter、新勧Instaの作成、新勧FB、HPで新入学生にアプローチ。
- 多彩な新勧活動：新勧祭(六甲台、深江キャンパス)、練習&マネ体験、BBQ、リーグの観戦、TF&大運動会他。
- 大学教務課：新入学生資料への勧誘資料の同封と配布を実施。
- 勧誘幅拡大：高校、高専、大学（編入者の獲得）、神戸大学内他運動部(アメフト他)へと勧誘対象校を拡大へ。
- 部員卒業高校ラグビー部へのアプローチ：勧誘レター送付、訪問活動、多彩な受験方法の提案
- 定期戦勧誘(兵庫、神戸、天王寺他)、大阪三公立高(茨木・天王寺・高津)合練勧誘中。
- ラグビースクール支援(場所提供→ラグビー技術コーチ→勉強指導も)
- 有力高校生発掘：KOBELCO CUPフォローアップ、九州公立高校、高専訪問(部員出身校+a)
- 近隣高校へのラグビーボール寄付活動の継続

2. FW体重増強とスクラム強化：

- 季節に左右されぬ食欲増進、新体重増加プログラム実施へ。→要新案：管理栄養士獲得、生協食堂と提携等
- 体重増プログラムの継続：FW8人合計体重→'23に600kg台→'24,'25は700kg台→'26は750kg台へ。
(リーグ上位チームは700kg台後半～800kg台。でこのままではまともに戦えない。)
- フロントローの獲得と育成+未経験者促成育成プログラムの実施+
→山内コーチ指導による的確なスクラムワークの実現で指導内容の部内伝承と徹底を図る。

3. フィットネス(パワーと持久力)向上と怪我・故障の最小化：

- 学生フィジカルリーダーの設定→瀬戸君(新三回生、FW)
- PPTフィジカルトレーナー招請：全部員パワーアップへ。→高校時代ラグビー浸け私大ラグビー部員との筋力差を埋める。
- ATHTRAllog：のお試しトライアル
- 武庫川女子大スポーツ科学部とのコラボ：トレーニングに科学的アプローチ。栄養士派遣。神大医学部より近い。



'26 神戸大学ラグビー部強化方向性

- **明和病院 (Dr. 山口) とPTT(Professional Trainers Team) : AT派遣へ**
～怪我治療と早期復帰、病院内トレーニングジム利用、学生アスリート医療サービス説明会、怪我治療と契約内容検討、**P&CCの設定**と神戸大学ラグビー部フジカトレーニング体制構築 etc.
- **トレーニング環境充実:**深江での筋トレ効果アップ^oの為にトレーニング機器の更なる充実と、追加場所の確保。

4. 全員ラグビー知の底上げ:

- **SPLYZA 導入**
- 速度V、体重M、パワーV、タイムを元に「**力積ラグビー**」 $Ft = MV$ と得点に絡む高確率プレーの**科学的なラグビー**。
- **神戸大学ラグビー部に最適 & 最新戦術・戦略・練習方法の立案・習得・実践:** (大石、山内両コーチ、桑田監督)
- 試合録画の部員共有にLINEで学生間反省会の実施→ 良いプレーの共有とミスの再発防止へ。
- **小松強化委員のデータ & 数値化された試合分析結果と、中本強化委員のゲーム記録**の次戦へのフィードバック。
- **他チーム戦略分析専門部員**の任命(リーグワ、リーグ戦術戦略分析も。)
- ラグビー初心者(未経験者)の**基礎プレー**を向上させ、**常識、定石の体得**。各部員の**無駄な反則を無くす**。
- レフェリー講習会に参加し、ルール最新情報入手と部員へのシェア。→ルールとレフェリーへの試合中対応能力の向上へ。
- 神戸大学がAリーグ時代に、**Aリーグでプレーをご経験されたOBの経験談**を聞く機会を設ける。

5. 良質な練習環境の提供:追加トレーニング機器とスペースの提供、**芝Gの整備**、追加備品購入実現。

6. 現役/OBの緊密なコミュニケーション:現役・OB面着運営会議の継続実施により、

7. 地域貢献:

- 深江カレー (深江駅周辺清掃活動に共鳴)との提携継続。→深江駅周辺清掃活動も継続。
- ラグビースクール支援継続: 芦屋ラグビースクール活動支援 (小学生への勉強指導も)

8. 国際化ヘトライ: Oxford大学遠征や海外企業訪問研修:の提案。

9. その他:

- **スポンサー契約による活動資金の確保**
- '26年度シャカカチBoon Boonプロジェクトへの応募、
- メンタルトレーニングの検討



'26 神戸大学ラグビー部強化方向性

[中長期]: 神戸大学ラグビー部 ブランドの最大化を図る!

- **継続的新入部員確保体制の確立:** インスタ他SNSとHP(<https://koberfc-official.com/>)の充実
- 現役卒業高校との連携継続→レター送付、訪問等を実施し、卒業生を紹介頂く。九州公立高校の更なる開拓。
- 有力高専との関係構築→ 久留米高専、奈良高専他
- 兵庫/大阪有力高校の定期戦や合同練習の深江グラウンドへの勧誘継続
- KOBELCO CUP参加学生の発掘による有力高校生勧誘活動
- 外部有カラグビー関係者との連携による有力高校生勧誘活動 (例: 立命館大OB 岡田氏)
- **定期戦の更なる充実:** 三商大戦、海洋大戦、甲南大に加え、国内、及び海外も。
- **現役指導体制の充実と継続と改善:**
 - 部長: 青井貴之 (神戸大学 医学部教授、神戸~H8卒)
 - 監督: 桑田雅也 (住友電工、大手前~R04, 2022卒)
 - Hコーチ: 大石嶺 (神戸製鋼、CTB、流通経大OB)~戦略・戦術・練習方法立案と指導
 - スクラムコーチ: 山内雅延 (神戸製鋼、ポロップ、法政大OB) ~ スクラム&ラインアウト指導
 - コーチ兼強化委員: 小松規秀 (カネカ、四条躰~S54卒)~ HCサポート、データ&映像解析、現役指導
 - 強化委員: 中本和夫 (日建設計OB、北野~S57卒) ~ コーチ陣サポートと現役指導
 - 新GMが就任し、現役強化の更なる改善と効率化を図る。
- **4回生就職支援:** 上級生就職支援活動も神戸大学ラグビー部ブランド力向上の一環。
- **国際化推進:** 異文化体験/外国企業訪問研修の実施(例:2024年NY/NJ研修実施)
海外遠征の実施(例: OXFORD大学遠征計画)
- **OB会会費支払い率・金額の更なる向上:** 金銭的支援の充実
- **環境整備**
 - ラグビー知向上(GPS & アプリ等による指導のIT化)、怪我最小化・フィジック強化(AT & SC充実他)、新人早期戦力化
 - クラブルーム&トレーニングルーム(於深江キャンパス)、芝グラウンドの維持管理と更なる増強の継続。
 - 現役&OBのコミュニケーションの更なる改善(運営会議他)、選手ご家族との連携
- **Aリーグ復帰、大学選手権出場、花園or秩父宮or国立で商神斉唱**

● **神戸大学ロゴ**
のオリジナルロゴへの
回帰検討。



'26期初試合結果と今後の予定

日付	対戦校	スコア	グラウンド	備考
3/29/26	vs東京海洋大	○ 65-14 (31-7, 34-7)	@深江G	定期戦
4/11/26	vs 大阪大	● 24-33 (14-19, 10-14)	@深江G	練習試合 (30分ハーフ)
5/17/26	vs 甲南大		@甲南大G	定期戦
6/21/26	vs 大阪公立大		@杉本町G	三商大戦
7/5/26	vs 関西外大		@関西外大枚方中宮G	練習試合

◆ 4月20日以降スケジュール:

- 4/26(日) 神戸大学ラグビー部OB総会 9:30~ @深江キャンパス
- 5/1(金) 芝生移植、グラウンド整備 (現役), 練習17:00~19:00@瀬戸公園
- 5/2(土) 9:00~芝生移植、グラウンド整備 (OB主体) 合同練習 w 茨木高校 9:30~@茨高
- 5/3(日) 3校合練 10:00~12:00 w 花園大, 関西外大@関西外大枚方
- 5/6(水) 3校合連 16:30~w 大経大、大院大3校練習試合@大経大G
- 5/8(金) 練習 17:00~19:00 @瀬戸公園
- 5/9(土) 練習 17:00~19:00 @瀬戸公園
- 5/10(日) 合練 w 芦屋クラブ 15:00~17:00 @芦屋総合公園
- 5/12(火) 練習 17:30~19:30 (+マックス測定)
- 5/13(水) 練習 17:00~19:00 @瀬戸公園
- 5/15(金) 練習 17:00~19:00 @瀬戸公園
- 5/17(日) **定期戦** vs甲南大学 11:00KO @甲南大G AMF有
- 5/23(土) 現役OB面着運営会議 12:30~@深江キャンパス
- 5/31(日) 練習試合 w 大国大(交渉中) 場所時刻未定
- 6/13(土) OBラグビーフェスティバル@深江G (現役vsOB戦は?)
- 6/14(日) 三校合練 w 阪大& 大教大 10:00~ @阪大吹田G
- 6/21(日) **三商大戦** vs大阪公立大学 KO未定 @杉本G
- 7/5(日) **練習試合** vs関西外大 KO未定 @関西外大枚方G)
- 7/25(土) 高校定期戦; 天王寺高校 vs 神戸 or 兵庫高校 @深江G



KOBE UNIVERSITY

RUGBY FOOT BALL CLUB

ALUMNI ASSOCIATION



ご清聴ありがとうございました。

表2 大学別 前後半得失点表 (Per Match)

(注) 得失点差=得点-失点

年度				得点平均値			失点平均値			得失点差平均値			勝敗			
22	23	24	25	得点	得点 (前半)	得点 (後半)	失点	失点 (前半)	失点 (後半)	得失点差	得失点差 (前半)	得失点差 (後半)	勝	負	引分	
1	2	2	1	龍谷大学	80.7	38.4	42.3	4.1	0.0	4.1	76.6	38.4	38.1	7	0	0
2	1	1	2	大阪体育大学	64.3	30.3	34.0	10.4	3.1	7.3	53.9	27.1	26.7	6	1	0
5	3	9	3	甲南大学	30.4	11.7	18.7	32.3	13.6	18.7	-1.9	-1.9	0.0	5	2	0
10	7	7	4	追手門学院大学	33.4	13.6	19.9	46.1	22.6	23.6	-12.7	-9.0	-3.7	3	4	0
8	6	4	5	大阪産業大学	46.0	18.7	27.3	20.4	7.7	12.7	25.6	11.0	14.6	5	2	0
12	9	C2	6	大阪経済大学	38.0	13.1	24.9	37.9	18.7	19.1	0.1	-5.6	5.7	4	3	0
4	5	5	7	京都大学	31.1	13.9	12.9	20.6	14.1	18.6	10.6	-0.3	-5.7	3	4	0
7	4	3	8	大阪国際大学	25.1	12.3	12.9	39.9	21.3	18.6	-14.7	-9.0	-5.7	2	5	0
C	C	C1	9	関西外国語大学	14.6	6.7	7.9	61.3	27.6	33.7	-46.7	-20.9	-25.9	2	5	0
C1	C4	10	10	大阪大学	25.3	11.7	13.6	48.3	15.7	32.6	-23.0	-4.0	-19.0	2	5	0
11	10	6	11	神戸大学	21.3	8.9	12.4	53.6	23.9	29.7	-32.3	-15.0	-17.3	2	5	0
3	12	8	12	大阪教育大学	14.9	8.3	6.6	50.6	24.0	26.6	-35.7	-15.7	-20.0	1	6	0
				平均	35.4	15.6	19.8	35.5	16.0	19.4			0	42	42	0

得点 平均以上 失点 平均以下

【2025年度】

2 勝 5 敗

得点: 21点 (3.6T) 10位

失点: 54点 (8.4T) 11位

【2024年度】

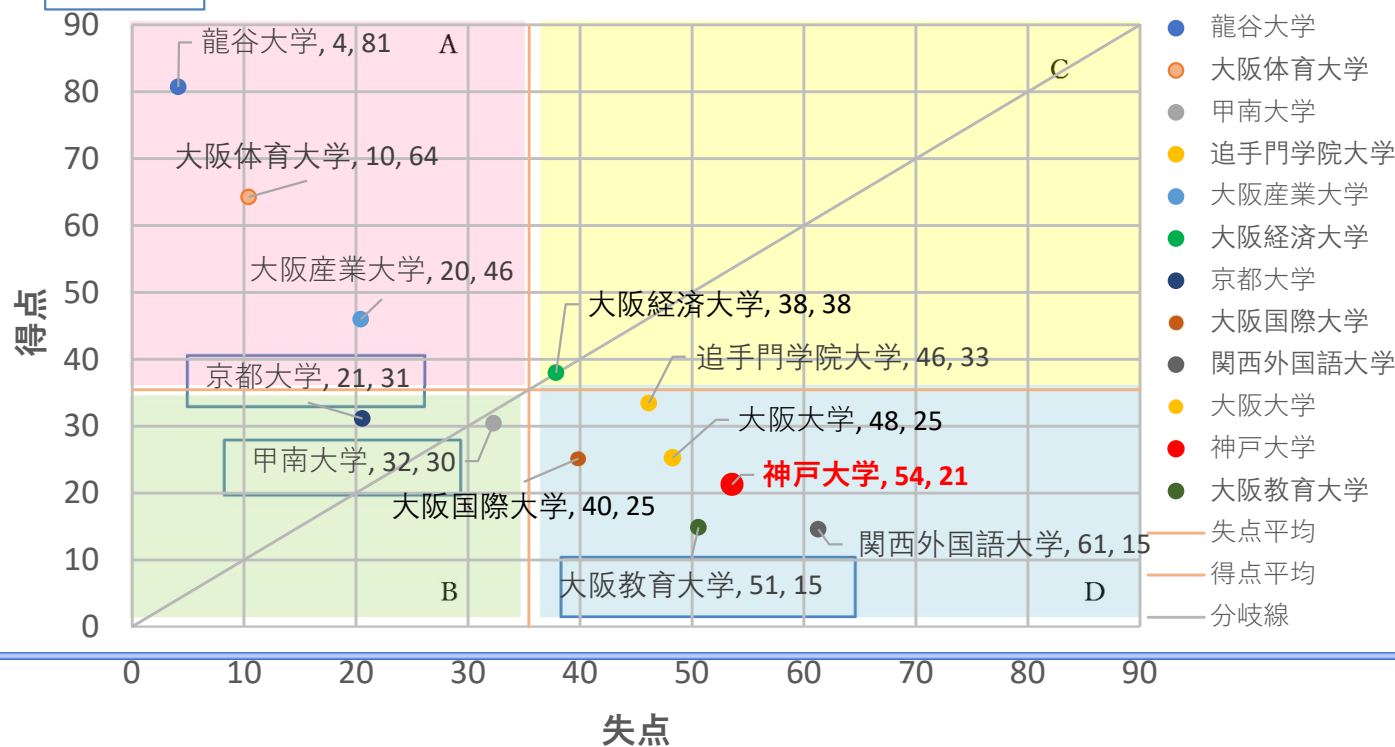
3 勝 4 敗

得点: 31点 (4.4T) 5位

失点: 37点 (6.4T) 9位

25年度

Graph1 2025年度 大学比較 (得失点平均)



得失点比較

- ・竜谷大と大体大は抜けている。
- ・下位の4チーム(神大、阪大、関西外国語大、大教大)が劣る。

【比較4校】

- ・神大: 11位。得点減少、失点増加
- ・京大: 7位。B昇格21年以降、最低順位。24年5位、23年4位
- ・甲南大: 3位。接戦を勝ち切った。24年は接戦を落とし9位。23年3位。失点が毎年少ない。
- ・大教大: 12位。23年度から部員ギリギリ。24年8位。伝統的に粘り強い。

リーグ戦(1次、2次:計7試合)での得失点の年度推移

◆ 2019年度からの得失点平均の推移

・得点

過去7年間で22年度に次いで少ない(21点)。

24年度から10点減少

・失点

過去7年間で20年度に次いで多い(54点)。

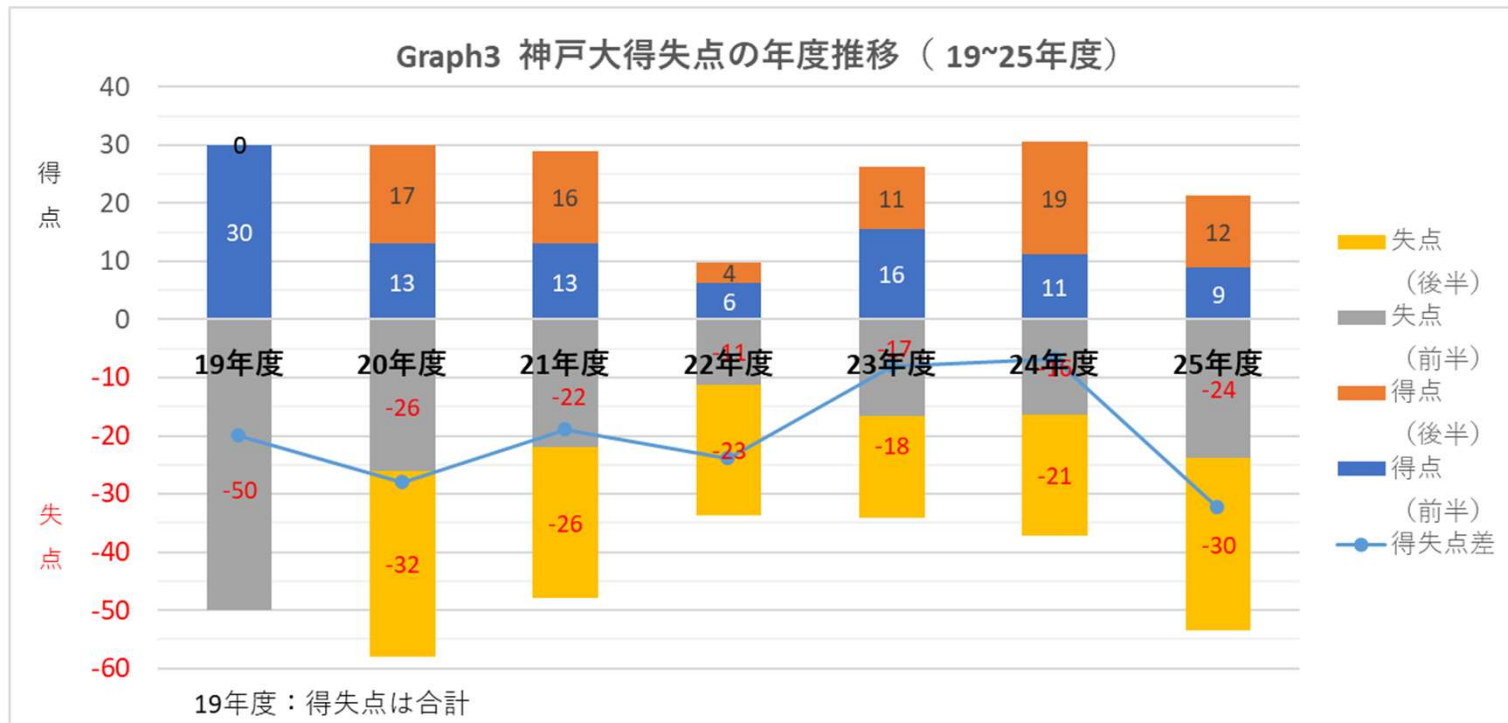
24年度から17点増加

・得失点差(=得点-失点)

過去7年間で最も多い(▲32点)。

試合平均得失点の推移

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
得点	30	30	29	10	26	31	21
失点	50	58	48	34	34	37	54
得失差	-20	-28	-19	-24	-8	-7	-32



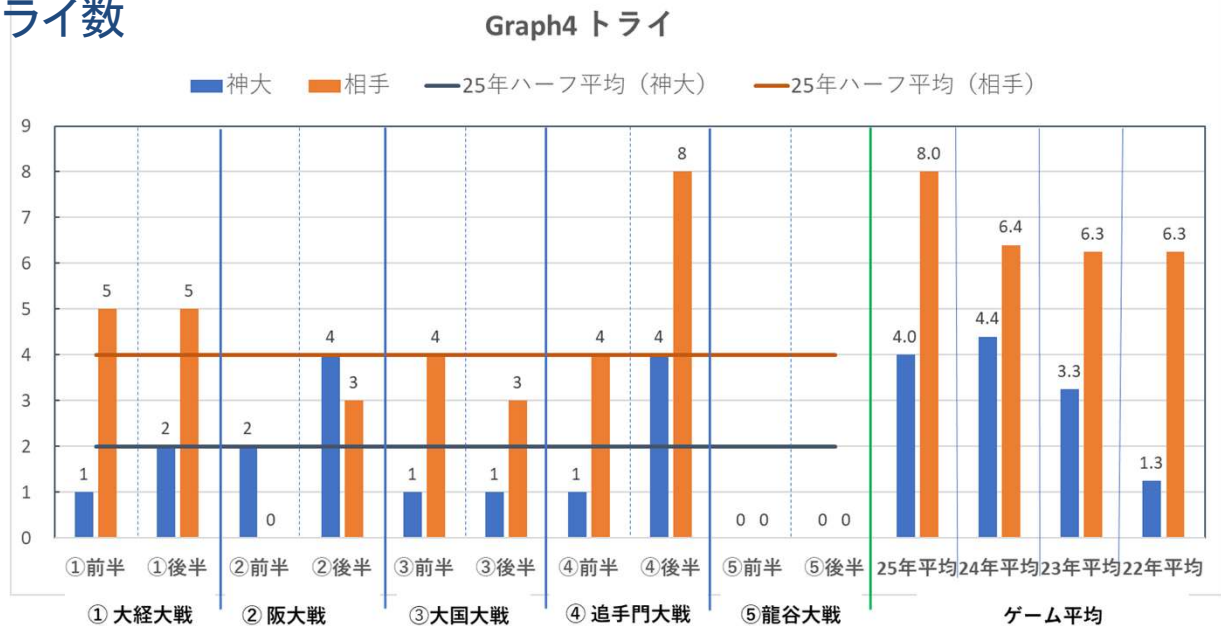
1次リーグ(4試合)のスタッツからの評価 4試合(龍谷大戦含まず)平均の比較

スタッツ項目	相手比較	前年比較	特記事項
トライ数	—	—	24年度比、得トライ同等(4.0)、失トライ大幅(8.0)
ボール支配率	—	—	対戦校より劣る(神46%、相54%)、阪大戦以外は40%程度
地域支配率(10m~TL)	+	○	対戦校平均より優る(神41%、相39%)、昨年度と同等 自陣ではキックで陣地取る戦術
ブレイクダウン(BD 回数・成功率)	—	+	回数は相手より少(神63、相手83)、成功率同等(95%)
ターンオーバー(TO 回数)	+	+	過去4年で最高。対戦校平均より多い(神8.5、相7.3)
RUN攻撃(回数, Gain)	---	—	総Gainは対戦校平均の1/2以下、回数も少ない。 回数: 神84、相101、Gain: 神205m、相533m 24年度に比べて対戦校のGain大幅増
キック攻撃(回数, Gain)	+	○	回数、総Gainとも対戦校平均より多い 神大21回/356m、相手14回/276m
連続攻撃(3Phase以上)	—	+	回数、平均Gainとも対戦校平均の60%程度 神大8回/13m、相手14回/22m
タックル失敗数	---	---	対戦校平均より大幅に多い(13回)。24年度より2倍以上
スクラム成功率	+	+	MyBall成功率88%。過去4年間で最高
ラインアウト成功率	—	—	MyBall成功率低い(65%)。過去4年間で最低
ハンドリングエラー	+	—	対戦校平均より少ない(神6.0、相9.0)、4試合とも少 24年度より多いが(神5.4、相5.4)、3,4年前より減少
ペナルティ	○	○	対戦校と同等(神7.8、相8.0)。4年間で最少。 内訳: ブレイクダウン2.8回、スクラム1.5回、オフサイド2.8回 スクラムP減少だが、阪大戦以外2回/試合

(注) ○: 同等、+: 優位、-: 劣位 「+」「-」の数はレベル。相手比較は4試合平均、前年比較は神大24年度との比較 3

スタッツ1 トライ数・ボール支配率

◆ トライ数

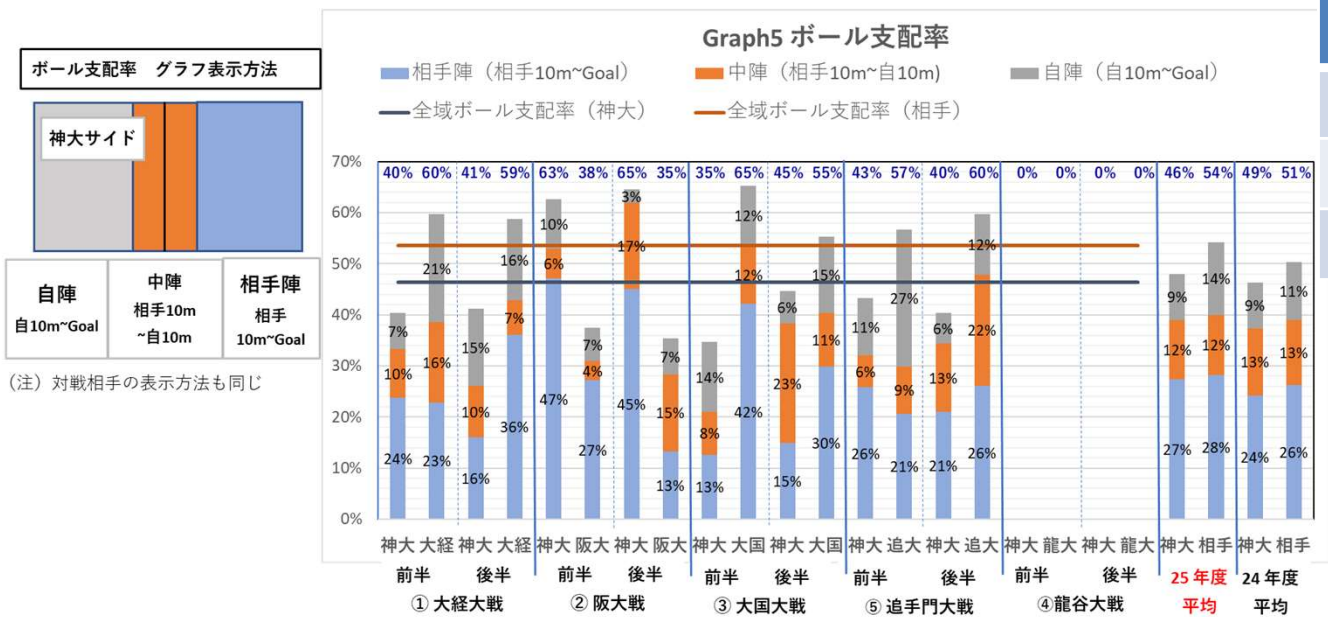


■ トライ数

スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム平均数	4.0	8.0	
前半 平均数	1.3	3.3	
後半 平均数	2.8	4.8	

- ・24年度と比べて、失トライが多い
- ・獲得トライは同程度
- ・連続してトライを奪われるゲームが多かった
- ゲーム立直しがうまくできなかった

◆ ボール支配率



■ ボール支配率

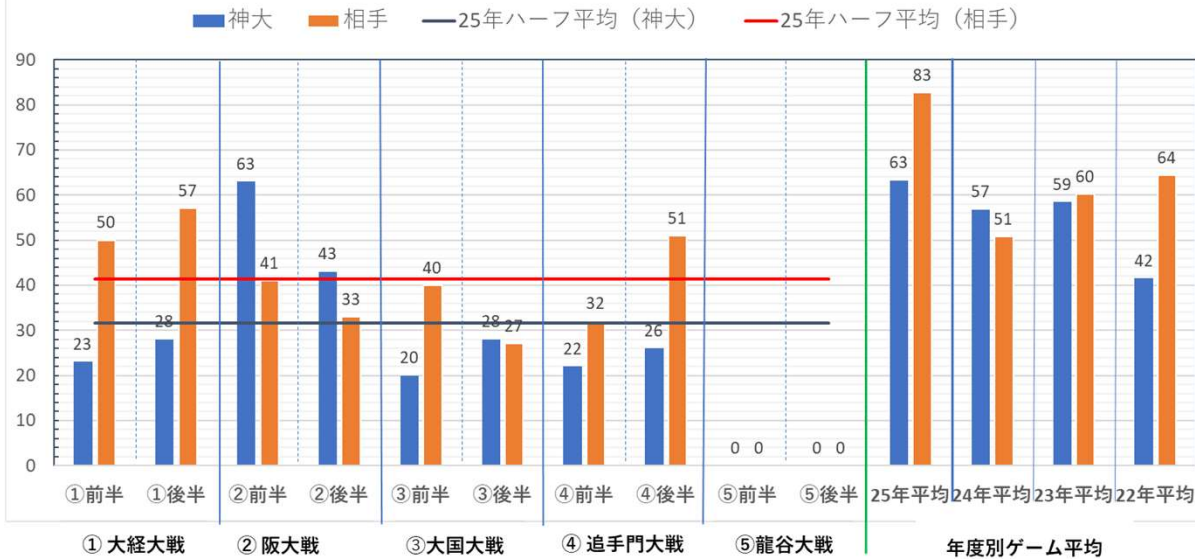
スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム支配率(%)	46	54	
前半 支配率(%)	45	55	
後半 支配率(%)	48	52	

- ・24年度(神大49%、相手51%)より低下
- ・阪大戦以外、相手より支配率低い
- ・各ゲーム40%程度
- ・相手陣の支配率(青色バー) 神大27%、相手28% 同等

スタッツ2 ブレイクダウン(BD)

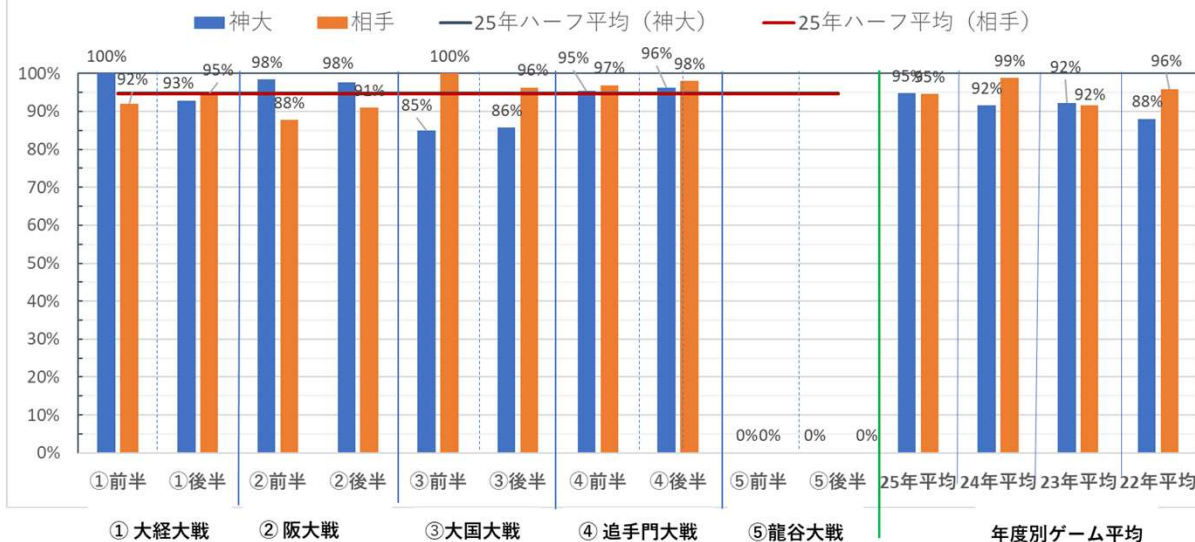
回数

Graph7 Break Down 回数



成功率

Graph8 Break Down 成功率



ブレイクダウン

スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム平均回数	63	83	少ない
成功率(%)	89	95	同等
前半 平均回数	32	41	
成功率(%)	96	95	
後半 平均回数	31	42	
成功率(%)	94	95	

回数、成功率平均とも過去4年間で最高
大経大(96%)、阪大(98%)、追大(96%)
但しBDでのGain少ない
成功率低い: 大国大戦(88%)

対戦校のスコア

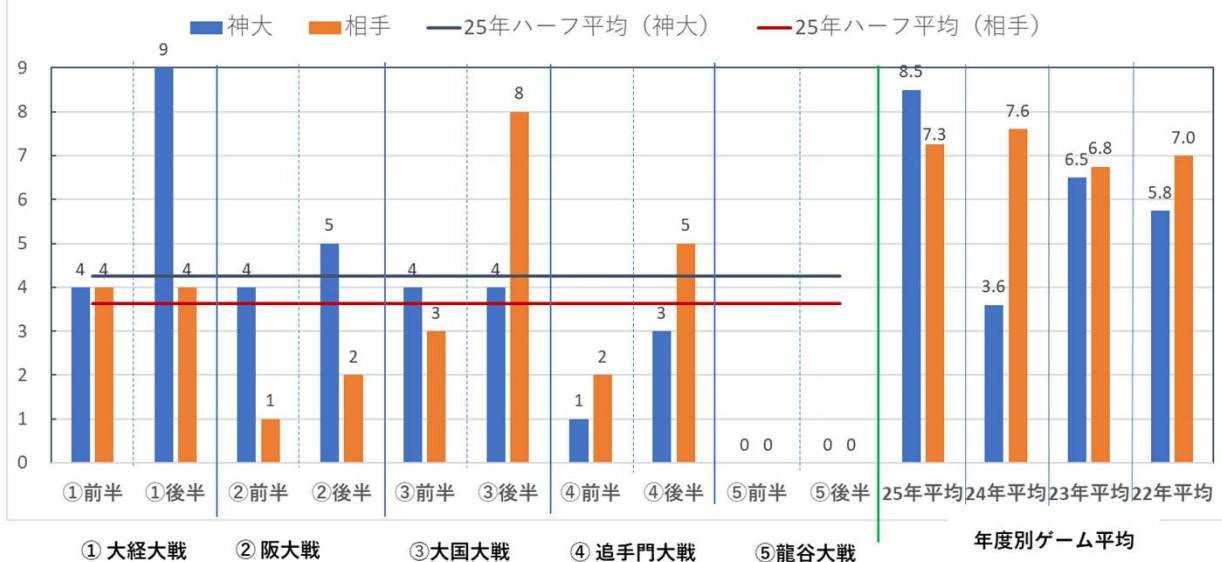
回数平均は昨年度より大幅増加
成功率低下→神大のターンオーバー増える

対戦校	相手成功率	神大TurnOver
大経大	93%	6
阪大	89%	5
大国大	99%	1
追手門大	98%	1

スタッツ3 ターンオーバー回数／タックル失敗回数

◆ ターンオーバー回数

Graph9 Turn Over 回数



■ ターンオーバー回数

スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム平均回数	8.5	7.3	相手より多い
前半 平均回数	3.3	2.5	
後半 平均回数	5.2	4.8	

・過去年度との比較
過去4年で最高、相手校より上も初めて
追手門大戦は少ない

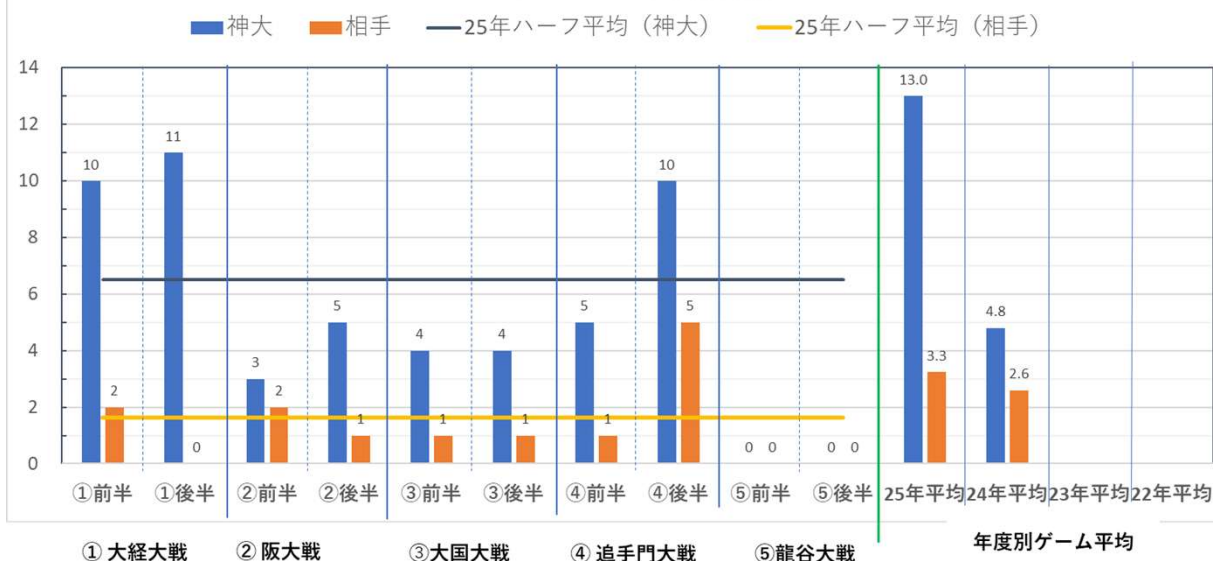
・分類

神大TO: ブレイクダウン3.3回
ラインアウト1.5回
相手TO: ブレイクダウン2.5回
ラインアウト2.5回

■ タックル失敗回数

◆ タックル失敗回数

Graph10 Tackle失敗回数

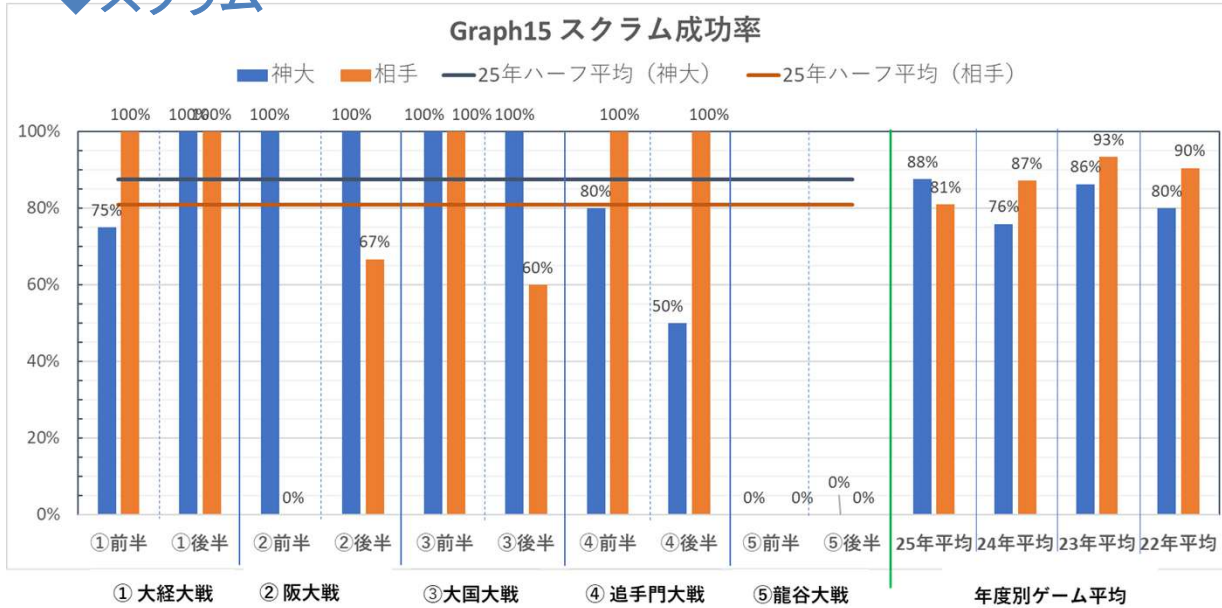


スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム平均回数	13.0	3.3	断然多い
前半 平均回数	5.5	1.5	
後半 平均回数	7.5	1.8	

・相手校より大幅に多い
24年度よりも大幅増

スタッツ4 セットプレイ(スクラム、ラインアウト)

◆スクラム

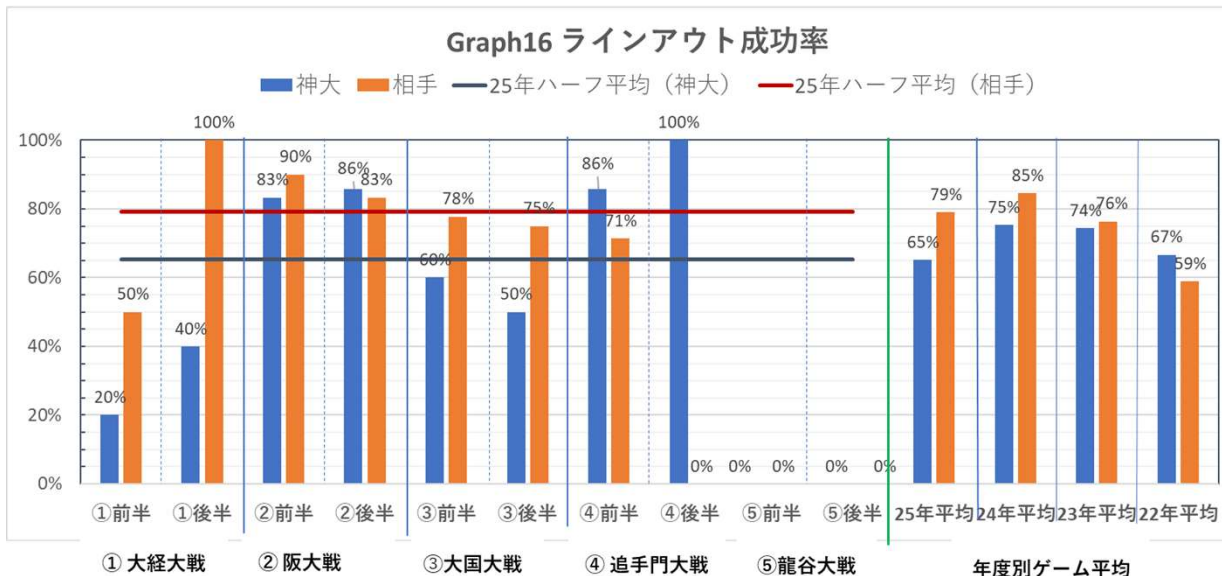


■スクラム

スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム成功率(%)	88	81	4年間で最高
前半 成功率(%)	89	86	
後半 成功率(%)	86	79	

- MyBall : 24年度(76%)より獲得率高い
大経大戦: ほぼ互角、阪大戦: 安定
天国大、追大戦: 押されるが早い球出し
- 相手Ball: 阪大戦: コラプシング2回奪う
天国大、追大戦: ボールキープして押し込まれた。コラプシングを各2回奪われる

◆ラインアウト



■ラインアウト

スタッツ	神大	相手	評価
ゲーム成功率(%)	65	79	4年間で最低
前半 成功率(%)	65	77	
後半 成功率(%)	65	85	

- 成功率高い試合
阪大戦(神85%、阪88%) 追大戦(神90%、追71%)

- 成功率低い試合
大経大戦(神30%)、天国大戦(神54%)
相手2番が競ってきた試合は成功率低い

昨シーズンの総括、チーム強化課題

◆昨シーズンの評価

①良くなったところ

- ・ブレイクダウンの成功率向上
- ・ターンオーバーの回数増
- ・スクラムのマイボール確保率

②強化するところ

- ・ディフェンス(1対1、チームディフェンス、バックアップ)
- ・スクラム(Bリーグ校と対等に組める)、ラインアウト(成功率アップ)
- ・ブレイクダウン(押し込める、ターンオーバーを増やす)

◆2026年度のチーム強化課題

①課題

- ・この数年、体重増加や外部のトレーニング指導も取り入れ、フィジカルを強化してきたが、**私学とのフィジカル差は大きい。**
- ・前十字靭帯断裂などの大けがは減少したが、まだ**肉離れ、腰痛多く**、ベストメンバーを組めなかった。
- ・チーム内の**ラグビー知や取組み意識の差が大きい。**

②強化方針

- ・科学的サポート体制の導入(ストレングスコーチ(SC)、アスレティックトレーナー(AT)) 山口基Dr提案
学生トレーナー養成、機器増強のトレーニング環境整備(全員でトレーニングができる)
Aリーグ校では当然の環境、神大アメフトも充実
- ・分析ツール導入・活用による戦術、戦略の共有化とラグビー知の向上、データ分析要員の育成
- ・部員の増員および未経験部員の早期戦力化

神戸大学ラグビー部における アスレティックトレーナー（AT）と ストレングスコーチ（SC）の必要性

S61

山口 基

明和病院 整形外科
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
関西学院大学アメリカンフットボール部チームドクター
兵庫県ラグビー協会医事委員
兵庫県高校ラグビーフットボール選抜チームドクター

大学ラグビーを取り巻く現状

- 競技レベルの高度化
 - ・ フィジカルコンタクトの激化
 - ・ 外傷・障害リスクの増加

我々の時代のようにスクラムが強い、足が速い、パスやキックがうまいだけの選手では対応できない

→ 科学的サポート体制が不可欠

アスレティックトレーナーの役割 と必要性

- 練習と試合中の外傷対応（脳振盪含む）
 - 障害予防プログラムの実施
 - リハビリ管理と復帰判断サポート
 - 医療機関との連携

→ **選手の安全確保と離脱期間短縮**

ストレングスコーチの役割と必要性

- 筋力・パワー強化
 - コンタクト耐性向上
 - スピード・持久力の強化
 - 年間トレーニング計画立案

→ けがを予防して勝てるフィジカル基盤の構築

ラグビー特有の課題

- 脳振盪の判断と管理
- 骨折や前十字靭帯損傷などの重篤外傷
- オーバーワークによる慢性障害

→ 専門スタッフによる予防と管理が必須

ATとSCが連携した場合の効果

- 傷害発生率の低下
 - 競技復帰の質向上
 - フィジカル指標の向上
 - チームの安定した戦力維持

→ **組織としての競争力向上**

強豪校の特徴（一般論）

- 常勤ATの配置

- 専任SCの存在
- データを活用した負荷管理

→ 支援体制が勝敗を左右する時代
典型的な例が帝京大学

人的投資の意義

- 重症外傷の予防による長期離脱回避
 - 医療費・機会損失の軽減
 - 選手の満足度向上
 - 安全配慮義務への対応

→ 長期的には費用以上の価値

OB会への提案

- 段階的な専門スタッフ導入
 - ATとSCは外部契約から開始
 - 学生トレーナーの育成と活用
 - 資金調達（OB会費以外にスポンサー契約）

未来の選手を守り、強くするために

まとめ

- AT=安全と復帰を支える
- SC=競技力を最大化する

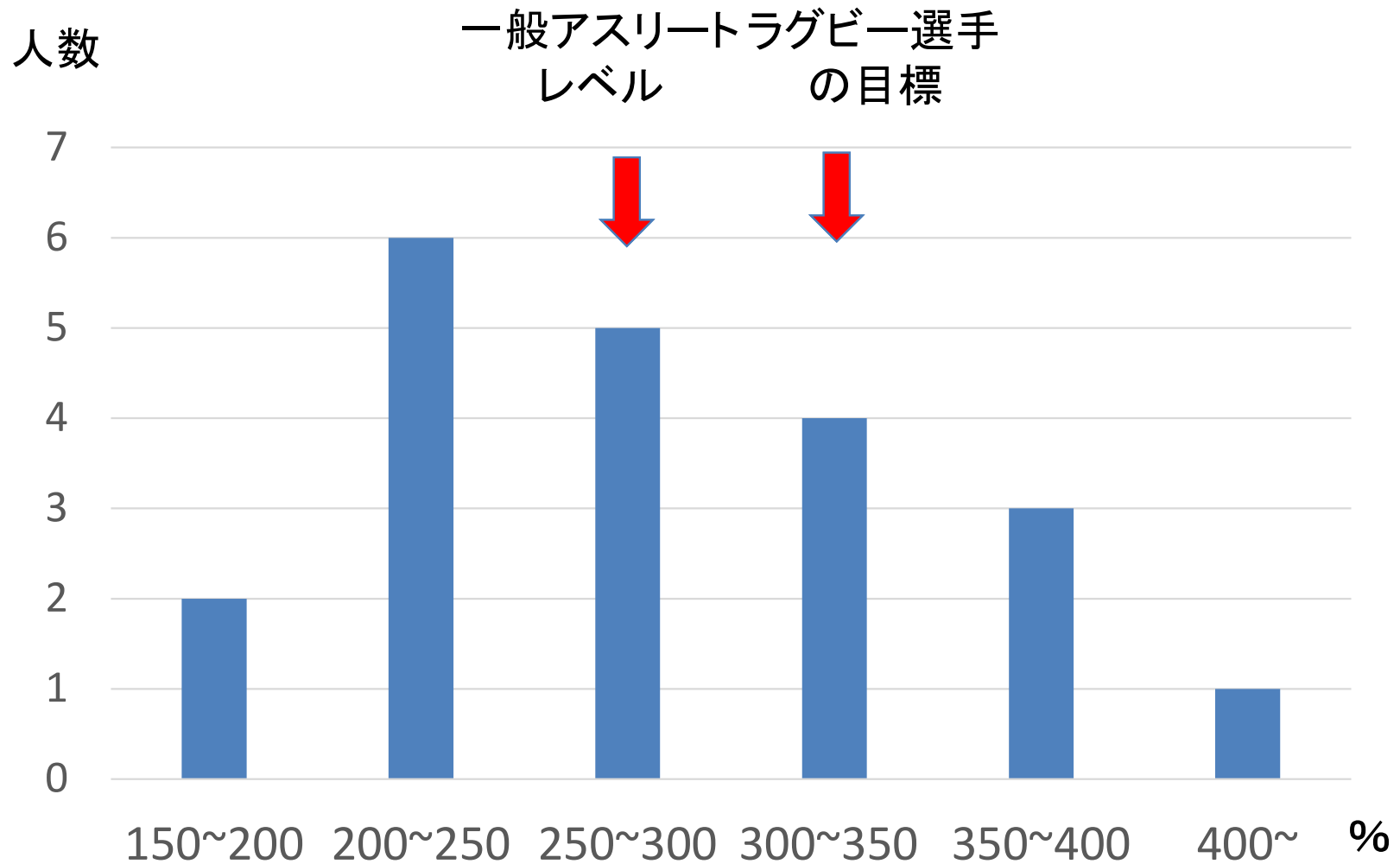
神戸大学ラグビーの持続的発展には
両者の存在が不可欠

神戸大ラグビー部員の筋力計測

- 今回神戸大ラグビー部員のフィジカルチェックの際に、下肢の筋力をスポーツ現場でのパフォーマンスの指標となる等速度性筋力の測定を行った。

ピークトルクの体重比

ラグビー選手としての目標値を達成している選手はわずか8名(38%)



2025年度 収支決算書

2025年4月1日～2026年3月31日

項目	実績	予算	差異	備考	前年度実績	前年度予算
1 前年度繰越	765,740	765,740	0	内、現預金 547,654円	1,308,705	1,308,705
2 会費・寄付等	3,887,000	3,600,000	287,000	12,000円/口、寄付含む	3,233,000	3,100,000
3 理事会等参加者会費	0	0	0		0	0
4 雑収入・利息	14,455	40,000	-25,545 -40,000	ネクタイ・エンブレム販売益・利息	87,338	40,000
5 その他	0	0	0			
6 会費前受金	0	0	0		0	0
単年度収入	3,901,455	3,640,000	261,455		0	0
収入計	4,667,195	4,405,740	261,455		4,629,043	4,448,705

2025年4月1日～2026年3月31日

支出の部					(参考)	
項目	実績	予算	差異	備考	前年度実績	前年度予算
1 現役補助	857,490	850,000	7,490		850,000	850,000
2 現役支援追加	65,494	146,000	-80,506	ネクタイ・エンブレム支給等	45,600	70,000
3 現役ユニフォーム購入	0	0	0		141,680	0
4 三商大戦+東京海洋大戦+定期戦補助	285,803	100,000	185,803	三商大ホスト校	80,000	100,000
5 監督活動費補助	0	100,000	-100,000	交通費等(今期請求なし)	127,160	100,000
6 コーチ交通費、謝礼	814,829	800,000	14,829	コーチ2名	775,794	700,000
7 新入部員獲得費補助	704,744	700,000	4,744	バイク35万+新歓35万	600,000	700,000
8 総会運営費	47,993	40,000	7,993		12,240	40,000
9 クラブ運営費	306,140	300,000	6,140	事務局費用・会議費等	363,806	150,000
10 会報作成費	7,951	30,000	-22,049	凌霜ラガー通信印刷費等	18,010	50,000
11 自動振込手数料等	64,287	70,000	-5,713	振込・引落とし費用等	71,753	50,000
12 東京支部運営費	80,000	100,000	-20,000		100,000	100,000
13 ラグビーフェスティバル	186,543	200,000	-13,457			
14 予備費、慶弔費	102,750	100,000	2,750	東京海洋大100周年お祝い他	60,000	100,000
15 芝生化関連経費	0	0	0		0	0
16 OB理事活動費	126,860	100,000	26,860	4回生慰労会・会場代	148,500	100,000
単年度支出計	3,650,884	3,636,000			3,394,543	3,110,000
次期繰越	1,016,311	769,740	246,571	下記資産残高参照	765,740	872,705
支出・次期繰越し計	4,667,195	4,405,740	261,455		4,160,283	3,982,705

2026年3月31日現在

資産残高 (次期繰越内訳)				
項目	2026.3.31	期首	増減	備考
三菱UFJ銀行	42,111	76,564	-34,453	
三井住友銀行	205,647	131,088	74,559	
ゆうちょ銀行	647,552	308,809	338,743	
現金	1,563	31,193	-29,630	
ネクタイ	16,038	49,896	-33,858	@1782 9本←28本
エンブレム	103,400	168,190	-64,790	@5170 20個←31個
本会計 資産合計	1,016,311	765,740	250,571	

会計 藤井 貞男 (昭和62年卒)

神戸大学ラグビー部OB会の会計関係につき監査いたしましたところ、正確に処理されており収支決算および資産残高は適正で相違ないことを認めます。

2026年4月25日 監事 森内 敏晴 (承認済み) (昭和56年卒)

監事 植木 心一 (承認済み) (昭和63年卒)

【議案5】 2026年度予算案(年会費)と年会費およびOB会規約の変更 1/3

(1) 2026年度予算案(年会費)

- ・現役活動補助にSC(ストレンクス&コンディショニングコーチ)とAT(アスレティックトレーナー)補助を追加。参考・補助資料参照
- ・現役活動補助にスポーツ映像解析アプリ補助を追加。補助資料参照
- ・バイク補助なし(現役からの申し出)。
- ・クラブルームとロッカールームの電気・上下水道代補助を追加(今までは神戸大学基金課外活動支援募金・ラグビー部から)
- ・神戸大学基金寄附募集活動費とWEB口座振替受付サービス導入を追加。2026年度限り。
- ・次期繰越金の見込みは1,200千円。

(単位:円)

費目		予算案	対25年実績差	考え方
収入	前年度繰越	896,873	349,219	
	会費	5,000,000	1,113,000	年会費値上げ
	雑収入			
	その他			
	単年度収入	5,000,000	1,067,140	
	合計	5,896,873	1,416,359	

費目		予算案	対25年実績差	考え方
支出	現役補助	850,000	0	用途限定せず。2回に分けて現役口座に振込み。前年並み
	現役支援追加	150,000	150,000	深江芝生養生時の外部練習場使用料補助等
	三商大など定期戦補助	0	-285,803	定期戦でのホスト校の予定なし
	監督活動費補助	100,000	100,000	前年予算並み
	コーチ交通費、謝礼	850,000	35,171	少しアップ
	S&CコーチとAT補助	950,000	950,000	新費目、現役からの要望
	スポーツ映像解析アプリ補助	300,000	300,000	新費目、現役からの要望
	クラブルーム電気・上下水道代補助	60,000	60,000	新費目、大学基金・課外活動支援募金・ラグビー部へ払込む
	新入部員獲得費補助	400,000	-304,744	新歓援助(30万円)、地方の高校訪問費用(10万円)、バイク補助なし(現役申出)
	(現役活動補助計)	(3,660,000)	(839,560)	
	総会運営費	50,000	2,007	前年並み
	クラブ運営費	300,000	-6,140	前年並み
	会報作成費	10,000	2,049	前年実績
	自動振り込み手数料など	70,000	9,442	前年並み
	東京支部運営費	80,000	0	前年実績
	ラグビーフェスティバル	200,000	13,457	現役部員の飲食を補助。OBは会費制。前年並み。
	慶弔費・予備費	100,000	-2,750	前年並み
	OB理事活動費	120,000	-6,860	4回生慰労会(記念品含む。2027年3月)、OBは会費制の予定。
	定期戦など補助前渡金	100,000	100,000	
	(諸経費計)	(1,030,000)	(111,205)	
	単年度支出	4,690,000	948,005	
	翌年度繰り越し	1,206,873	468,354	
	合計	5,896,873	1,416,359	

単年度収支	310,000	119,135	
-------	---------	---------	--

【議案5】 2026年度予算案(年会費)と年会費およびOB会規約の変更 2/3

(2)年会費の変更

OB会費納入状況

(単位:人、円)

	2023年度		2024年度		2025年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額
納入額						
3,000円	?	?	2	6,000	3	9,000
6,000円	?	?	30	180,000	33	198,000
12,000円	?	?	213	2,556,000	225	2,712,000
自動引落	248	2,766,000	245	2,826,000	261	2,919,000
銀行振込						
3,000円	0	0	0	0	1	3,000
6,000円	0	0	2	12,000	2	16,000
12,000円	22	296,000	29	395,000	34	949,000
銀行振込	22	296,000	31	407,000	37	968,000
合計金額	270	3,062,000	276	3,233,000	298	3,887,000

- 納入額
- 3,000円 卒業後10年未満の女子マネジャー
 - 6,000円 卒業後10年未満の男子部員及び卒業後10年以上の女子マネジャー
 - 12,000円 卒業後10年以上の男子部員
 - ・銀行振込には、1万円/1.5万円/2万円/2.4万円/3万円/5万円の人もいる。
 - ・2025年度は20年間分を先払いした人が2名いる。

- 参照資料
- ・ 20260410_R07_収支一覧表・決算
 - ・ 20240721 会費納入記録2023-2024

2026年度以降の年会費の考え方

- ① 2026年度の必要支出額：500万円
- ② 会費支払い人数：2024年度と同じと仮定
- ③ 現会費6,000円を10,000円に値上げ
- ④ 現会費12,000円をいくらに値上げしないとけないか①の必要支出額から逆算

(単位:円)

現会費	新会費	支払人数	合計
6,000	10,000	32	320,000
12,000	19,339	242	4,680,000
	20,000		5,000,000

OB会規約の変更要

(参考)
年会費変遷

年度	会費(円)
2019	6000/12000
1991	10,000
1988	8,000
1979	5,000
1978以前	3,000

2024年度 現役部員
1人当たりの年間負担額(概算)

内訳	金額(円)
部費(前期)	16,000
部費(後期)	13,000
合宿費用	72,000
道具費	20,000
ジム契約代	48,000
交通費	20,000
合計	189,000

【議案5】 2026年度予算案(年会費)と年会費およびOB会規約の変更 3/3

(3)OB会規約の変更

【変更理由】

年会費の変更

【現状】

第17条(年会費等)

1. 本会の経費は、年会費、寄付金およびその他の収入をもってことに充てる。
2. 年会費は以下とする。
卒業後10年未満 6,000円
卒業後10年以上 12,000円

【改定案】

第17条(年会費等)

1. 本会の経費は、年会費、寄付金およびその他の収入をもってことに充てる。
2. 年会費は以下とする。
卒業後10年未満 **10,000円**
卒業後10年以上 **20,000円**

【議案5】 補足資料

S&C（ストレングス&コンディショニング）コーチとAT（アスレティックトレーナー）

1. 現役が考えるチームの課題

・接点の強化（フィジカル強化）、けが予防、適切なリハビリによる早期復帰

2. 課題解決手段

- ・トレーニング器具増強してチーム全体で取り組む（大学基金利用して新規購入予定）
- ・S&C（ストレングス&コンディショニング）コーチによるトレーニング指導（体力測定、年間トレーニング計画立案、トレーニングプログラム作成、トレーニング指導）
- ・AT（アスレティックトレーナー）によるリハビリサポートと学生トレーナーの育成

3. AT（アスレティックトレーナー）とは

スポーツ選手や運動を行う人のケガの予防・評価・応急処置・リハビリ・コンディショニング管理を専門とするトレーナー。スポーツ現場の“医療とパフォーマンスの橋渡し役”。

4. アスレティックトレーナーの主な役割

- ①ケガの予防：フィジカルチェック（次ページの表参照）、ウォーミングアップやトレーニングの指導、体の使い方の改善、テーピングやサポートの実施
- ②ケガの評価と応急処置：ケガをした直後の状態を評価、応急処置（RICE 処置など）、必要に応じて医療機関へのつなぎ
- ③リハビリテーション：ケガから復帰するための運動プログラム作成、段階的な復帰サポート
- ④コンディショニング管理：体力測定や疲労管理、栄養や休養のアドバイス、試合に向けた調整
- ⑤学生トレーナーの育成：学生トレーナーに、安全対策（ケガ、事故が起こさない取組とケガや事故が起きた際の速やかな対応）を教育

S&C（ストレングス&コンディショニング）コーチとAT（アスレティックトレーナー）は、明和病院アスレチックリハビリテーションセンターと連携している （株）プロフェッショナルトレーナーズチームに依頼

（参考）神戸大学アメリカンフットボール部

アスレティックトレーナーに 15 万円/月、理学療法士に 10 万円/月、
計 200 万円/シーズン。学生トレーナーは 16 人（=4 人×4 学年）

メディカルチェック/フィジカルチェック 対照表

項目	メディカルチェック	フィジカルチェック (AT)
目的	医学的リスクの確認 (ケガ・障害の早期発見)	動作の癖やフォーム不良の把握 (障害予防・パフォーマンス向上)
主な担当	医師	アスレティックトレーナー (AT)
目的の違い	ケガの“有無”を確認する医学的チェック	ケガの“原因”となる動作を見つけるパフォーマンスチェック
評価の性質	静的評価 (関節・神経・画像検査)	動的評価 (実際の動作を観察)
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 四肢関節の可動性・不安定性 体幹可動性 腰部・頸部の神経症状 レントゲン撮影 必要に応じてMRI撮影 	<ul style="list-style-type: none"> スクワット姿勢の評価 ランニング時の過度な回内の有無 ジャンプ着地時の背屈不足・重心位置 その他動作の癖の分析
学生へのメリット	<ul style="list-style-type: none"> 医学的リスクの早期発見 既往部位の状態確認 	<ul style="list-style-type: none"> 動作改善による障害予防 競技力向上
費用の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険を利用 MRIは通常診療と同様の費用が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 医療行為ではなく、ATサポートとして 1,500円 (別途消費税) /人
実施場所	医療機関 (明和病院)	明和病院アスレティックリハビリテーションセンター

情報源：日本スポーツ協会公認スポーツドクター

S&C (ストレングス&コンディショニング) コーチ、

AT (アスレティックトレーナー)、および管理栄養士によるサポート費用見積り

株式会社プロフェッショナルトレーナーズチーム

サポート項目	単価	数量	金額 (円)
S&Cコーチによるトレーニングサポート			
体力測定	4,400円/人	40	176,000
フィールドテスト 筋力測定 体組成分析など			
トレーニング指導 (月1回、10か月)	27,500円/回	10	275,000
カウンセリング 年間トレーニング計画 トレーニングプログラム作成含む			
小計			451,000
ATによるリハビリサポート			
フィジカルチェック	1,650円/人	40	66,000
明和トレーニング施設利用料(診療範囲以外で使用)	1,000円/回	50	50,000
リハビリサポート (月2回、10か月) 安全対策講習会、学生トレーナー指導含む	16,500円/回	20	330,000
小計			446,000
管理栄養士によるサポート			
食事・サプリメントセミナー (90分)	33,000円/回	1	33,000
小計			33,000
合計			930,000

【議案5】 補足資料

スポーツ映像解析アプリ SPLYZA Teams

1. 現役が考えるチームの課題

ラグビー未経験者が増え、選手層の底上げのために、考える力の向上と戦術共有が必要。

2. 課題解決手段

スポーツ映像解析アプリ SPLYZA Teams の導入

3. 導入効果

視覚効果、解説動画で次のような効果が期待できる。

「考える力」が育つ：選手が自ら課題を見つけ解決する

「戦術理解」が深まる：連携ミスが激減

「勝率」が変わる：具体的な準備が試合に直結



(機能)

- ・自由な描き込み：指一本で移動ルートや注目ポイントをマーク
- ・テキスト挿入：「逆サイドを見て！」などの指示を字幕で挿入
- ・ズーム機能：細かい足元の動きも拡大して確認
- ・ピンポイント共有：タグをタップするだけで目的地

関西学院高校、福岡高校の出身者の2名は、実際に高校時代使っており、効果を知っている。

以上

【議案6】2025年度（25年4月から26年3月まで）東京支部活動報告

- 東京支部としては、100周年記念事業を終えた24年度からは関東地区における個別の活動に加え、OB会全体の活性化に資するよう「本部と一体となって動く」ことを重視して活動しております。
- ・4月初めより …… 東京支部執行部にて、2025年度東京支部総会及び秋季集会の日程につき検討開始。
東京支部総会は5月19日（月）の開催とし、18時から総会、19時から懇親会とすることに決定。
 - ・4月27日（日） …… 本部総会及び懇親会に出席。今回から復活した総会後の懇親会につき、企画段階から議論に参画し、人集めに尽力した。
 - ・5月4日（日） …… 東京海洋大との定期戦（118対5で神戸大が大勝）に、多くのOBに応援に来てもらえるよう東京支部事務局からも案内を行い、十数名の方に応援に来ていただいた。なお、レセプションには支部執行部も参加。
 - ・5月19日（月） …… 東京支部総会&懇親会を東京六甲クラブにて開催。丁寧なる声かけを実施し、27名（内、平成年代9名）の参加を得た。今回、新たな試みとして、OBとの距離感を縮めるべく現役幹部に意気込みを語ってもらう動画を紹介した。支部からの定例説明に加えて、田中前会長には退任のご挨拶、坂下会長より25年度の全体活動方針、磯江GMより現役チームの昨季総括と今季強化方針の説明をいただいた。
 - ・6月8日（日） …… 初開催の神大ラグビーフェスティバル（活性化PJでの提案企画）にリアルで参加。
東京支部執行部としては企画段階から参画し、当日朝の準備及び受付業務等もサポート。
 - ・11月17日（月） …… 東京支部秋季集会&懇親会を東京六甲クラブにて開催。25名（内、平成年代8名）の参加を得て、坂下会長からはOB会全体の活動状況、さらに磯江GMからは現役チームの検討状況等を説明いただいた。（残念ながら、この時点でCリーグ降格が確定しており、すぐにBリーグに復帰できるよう、支部としてもさらに結束してサポートしていくことを確認）
 - ・1月13日（火） …… 大阪六甲クラブにて開催の活性化会議にリアルとwebの双方で参加。活発な議論を実施。
 - ・1月20日（火） …… 活性化会議にて、広報・コミュニケーション委員会より提案のあった企業内コミュニケーション強化に関し、川北理事とweb会議にて意見交換を行い、支部事務局からの支援をお約束。
 - ・2月19日（木） …… 藤井理事と最新のOB会費納入状況の実態把握のためにweb会議を実施。今後の収納強化に活かす所存。
 - ・2月20日（金） …… 坂下会長、遠藤事務局長と、OB会活動に関する意見交換のためにweb会議を実施。
 - ・3月23日（日） …… 次年度施策である企業内コミュニケーション強化に向けて、各企業OB（伊藤忠、東京海上日動火災保険、三菱UFJ銀行 他）への働きかけを開始。

【議案7】 広報・コミュニケーション委員会活動報告・計画

2025年度メンバー:安積(57年卒)、福本(63年卒)、川北(57年卒)

2025年度活動報告

- ① ホームページ
 - ・OB・OGの活躍紹介コーナーの新設によりOBページの閲覧数が増加
2025年8月～6か月間平均:68view → 2026年2-3月平均:494view
- ② LINEグループの活用
 - ・グループメンバーを増員(2026年1月)。現在約190名
気軽に活用できる様々な交流、情報交換の場として活用

2026年度活動計画

覚悟を持って取り組む年! Anchor the Bond!

OB/OG間、OB会現役間の結束を固め、現役サポートを生み出す

1. HPの活用推進

HPのコンテンツを充実させ、会員間及び現役との情報交換を活発化

- ・新コーナーの立ち上げ等掲載情報(話題)の充実 → 閲覧数の増加
- ・会員の活躍紹介コーナーの充実(過去の活躍話なども)

2. HP広告の導入

現役サポートの資金獲得の一助となるようHPを活用

3. メルマガの配信

メルマガによる話題提供でOB/OG間、OB会現役間の交流を活性化

4. 企業内コミュニケーション強化

世代を超えたつながり構築のため企業単位での縦の関係づくりにチャレンジ

- ・役員・部長から新入社員までが集い、親睦を深め、現役支援のきっかけをつくる

5. 現役の就活に役立つ企業・業界情報の提供

コミュニケーション強化とともに現役活動・生活をサポート

- ・現役の要望をとりまとめ、具体的活動の構築に向けて計画中

OB/OGの皆さまへのお願い ~現役サポート&OB/OGとしての楽しみのために~

- ① 現役・OB/OGの情報入手、発信(メルマガを楽しんで、HPを閲覧しよう!)
- ② LINE・メルマガへのメッセージ投稿(現役応援、とりとめのないお話OK)
- ③ 会員の活躍紹介コーナー(HP)への情報提供(他薦、自薦問わず。取材も可)
- ④ 就活に役立つ企業・業界情報提供(自薦、他薦による提供者の登録?など)

以上

【議案8】OB会活性化プロジェクト報告（副会長：大野慎治）

プロジェクトの目的

- OBがOB会を通じて神戸大学ラグビー部の活動に積極的に関わる
- 物心両面から現役を支援し、ラグビー部の強化を図る

活動内容

1) ラグビーフェスティバルの開催

- 目的：若手OB（卒業後10年前後）が現役や他OBと交流できる機会の提供
- イベント概要：
 - 名称：神戸大ラグビーフェスティバル
 - 日時：2025年6月8日（日）
 - 場所：神戸大学深江G
 - 内容：
 - OBと現役混合のタッチフット
 - 新入生歓迎試合（新入生中心の現役チーム vs 若手OB）
- 成果：
 - 好天に恵まれ、多くのOBとその家族が参加
 - タッチフットは大きな怪我なく終了
 - 新入生歓迎試合は現役チームが35-7で勝利
 - 懇親会ではOBと現役の交流が深まり、部の一体感が醸成された

2) 現役支援活動資金の強化

- 背景：
 - 100周年行事を機にOB会活動への関心が高まっている
 - OB会費の個別依頼には限界がある
- 施策：
 - 卒業する四回生全員にOB会費の支払いを依頼
 - 経済的に余裕のあるOBへの協力呼びかけ
 - ・神戸大学基金（芝生化及び課外活動支援）に、寄付制度を活用して支援金を募る（税額控除可能）
 - ・神戸大学OB会会計（口座）に、ラグビー部支援活動としての寄付を募る（税額控除不可）

今後の展望と決意

- 昨シーズンはCリーグ降格という結果に終わり、OBも悔しさを感じている
- 新四回生にはBリーグ昇格を目指し、不転の決意で臨んでほしい
- OBも「今サポートしないでいつやるのか」という危機意識を持ち、支援を継続
- 今シーズンもラグビーフェスティバルを開催予定（6/13土曜日）
 - OBと現役の一体感をさらに深め、覚悟を共有する場とする

【議案9】

深江グラウンドの天然芝維持管理に向けて

芝生化推進委員会 田中計久（S53年）

日頃は深江グラウンド天然芝の維持管理にご協力をいただき感謝申し上げます。

春から秋の芝刈り作業については、坂下会長のリーダーシップにより新たな体制でしっかりと取り組んでいただいております。特に中心となって作業を担っていただいている福本さん（S63）には頭が下がります。夏場の作業では特定のOBに負担がかからないよう、できるだけ多くのOBに参加していただくようお願いします。

2018年に芝生化が完成して以来、すでに9年が経過しました。昨年、一昨年と厳しい夏の猛暑に加え、使用過多もあってグラウンドの西半分では芝生が傷み土壌が露出したエリアが拡大しました。修復作業を行った結果、相当部分で芝生の復元はできましたが、その後の使用過多により損傷部分が再度拡大しています。もちろん、芝生の維持にはお金がかかります。創部100周年記念事業でお願いし、ご協力いただいた寄付金によるリザーブは、昨年と一昨年の大掛かりな芝生補修費用で減少しており、今後またOBの皆さんに寄付をお願いする、あるいは年会費収入から繰り入れる等の手当てが必要になってまいります。またOBの皆さん以外からの資金確保も今後は検討すべき時期にきていると思われま

深江グラウンド天然芝化は故吉川OB会長が、「現役の部員に芝生のグラウンドでラグビーをさせてあげたい」という熱い思いを実現するべくOB諸兄から寄付を集めて実現しました。重篤な病に罹患された後も不屈の精神でこの芝生化事業のリーダーシップを取られた吉川さんの思いを引き継いで、決してこの芝生を枯らすことなく維持していくという使命をOBの皆さんで受け継いで行くことをお願いします。

天然芝グラウンドは人工芝と違い、芝生が散水効果も相まって夏の暑さを緩和してくれます。また最近では人工芝が環境に及ぼす悪影響（いわゆるプラスチックごみ）も懸念されているようです。天然芝は毎年の維持管理費用はかかりますが、10年をめぐりに人工芝の敷き替えが必要なことと比較すれば経済的でもあります。OBの皆さんには夏の間ぜひ美しい深江の芝生グラウンドを訪れてください。後輩たちのために、将来にわたって立派な芝生グラウンドを維持していこうと感じていただければ、と思います。

【議案10】 2025年度大学基金収支

(1) 神戸大学基金 課外活動支援募金・ラグビー部 (学生支援課提供)

単位：円

費 目	収 入	支 出	残 額
2025年3月末残高	921,701		
課外活動支援募金入金	285,000		
屋外・防雨型掛け時計購入費		50,500	
スコアボード部材（ホワイトボード）購入費		56,500	
クラブルーム電気・上下水道費		50,879	
	1,206,701	157,879	1,048,822

- ・ 課外活動支援募金入金：2025年度中に新たにOBから寄附を頂いた金額
- ・ 2026年度初にトレーニング器具（約70万円）購入予定
- ・ クラブルーム電気・上下水道費
： 2026年度からOB会会計予算を立て、大学基金へ払い込むことで対応
（2025年度までは認識の無いまま基金から支払われていた）

【議案10】 2025年度大学基金収

(2) 神戸大学基金 深江グラウンド芝生化基金

単位：千円

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収 入	1,045	10,394	950	1,007
支 出	2,010	2,617	4,741	5,376
年度末繰越残高	6,388	14,165	10,374	6,005

- ・ 2022年度～2024年度：2025年度総会資料より
- ・ 2025年度：学生支援課提供資料より（深江グラウンド芝生化基金2025年度）
- ・ 2023年度収入：100周年記念事業寄附金 944万円投入
- ・ 2025年度収入：新たにOBから寄附を頂いた金額（5.7万円）を含む
- ・ 毎年『塩害対策経費』として育友会から学生支援課を通じて95万円の振り込み
（95万円 = 育友会から100万円 - 大学側の手数料5万円）

2025年度支出内訳

単位：円

費 目	金 額	備 考
芝生維持		
除草剤散布	910,796	3回（4月、11月、3月）
化成肥料散布	638,000	4回（5月2回、7月、9月）
殺虫・殺菌剤散布	319,000	1回（5月）
目砂散布	759,000	2回（6月、7月）
阪神園芸アドバイザー業務	385,000	9か月分（4月～12月）
小 計	3,011,796	
芝生部分張替		
芝生部分張替（5月）	473,000	下地修正：275,000 芝生張付け：825,000 砂・肥料散布：150,000 諸経費：250,000
芝生部分張替（8月）	1,617,000	
小 計	2,090,000	
機械保守		
芝刈り機点検	52,228	2回
スプリンクラー修理	151,800	2回
小 計	204,028	
燃料・ごみ処理		
芝刈り機燃料代他	11,900	
刈芝収集運搬（可燃ごみ）	58,646	
小 計	70,546	
合 計	5,376,370	

【議案11】 今後の深江G芝生維持管理について

目的：本件の問題意識及び進め方についてのコンセンサスを得ること。

(1) 深江グラウンド芝生化の経緯

- ・ 2017年 芝生化実行委員会設立
ラグビー一部OB会(含む医学部ラグビー部)による寄附金集め
兵庫県の補助金申請
- ・ 2018年 4月 芝生グラウンド起工式
同年 10月 芝生グラウンド竣工式
- ・ 2019年 ラグビー部の練習で使用開始
- ・ 2020～21年 コロナ禍により部活動水準低下
- ・ 2022年 部活動平常化
- ・ 2023年 ラグビー部100周年寄附金(含む医学部ラグビー部)の一部を投入
- ・ 2024～25年 グラウンドの本格使用に伴い傷みがひどくなり、維持管理費が増加
- ・ 2026年 3月 芝生化実行委員会は当初の目的を達したことから解散

(2) 神戸大学基金・芝生化口座収支実績

* データ出典: 学生支援課、阪神園芸

(単位: 万円)

年度	2017～19年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
第一期芝生化工事	2,398						
第二期芝生化工事	1,598						
芝刈り機購入	123						
水道代	406						
芝生維持	139	46	34	104	162	337	263
除草		31	0	22	58	48	91
施肥		15	30	33	36	33	64
殺虫殺菌		0	0	0	0	0	32
撒砂		0	4	28	46	97	76
エアレーション		0	0	21	22	28	0
播種・播き芝		0	0	0	0	131	0
成長抑制剤		0	0	0	0	0	0
張替		32	0	0	50	58	209
阪神園芸管理費		39	39	39	39	39	39
燃料・ごみ処理など		13	11	7	8	9	7
機械保守・修理工		0	0	51	2	31	20
内訳				雨水管清掃:46		スプリンクラー:24	スプリンクラー:15
				ラインカー:5	ラインベンキ:2	ラインベンキ:7	芝刈機:5
支出計	4,664	130	84	201	261	474	538
大学育友会補助*				95	95	95	95
OB寄付	4,375	553		9	944		
兵庫県助成金	686						
収入計	5,061	553	0	104	1,039	95	100
単年度収支	397	423	-84	-97	778	-379	-438

2020年以降、大学側で負担いただいている

定常的な芝刈り作業はOB会有志で行っており、費用計上はなし

外部の芝を購入したため、費用増加

使用頻度高く芝生の傷みが激しくなり維持費増加

創部100周年寄付金の一部を投入

芝生化工事完成及び収入内訳(寄付金、助成金)

コロナ禍によりグラウンド使用頻度減

大学基金残高(年度末)	397	820	736	639	1,417	1,038	600
-------------	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----

* 神戸大学基金に振込まれた金額から、全学基盤強化費として振込額の5%が控除されている

(3) 今後の収支シミュレーション (阪神園芸からの計画書に基づく)

(単位: 万円)

年度	2025年 実績	2026年 想定	2027年 想定	2028年 想定	2029年 想定	費用の考え方
芝生維持	263	287	279	279	279	定常的な芝刈り作業はOB会有志で継続し、費用計上はしない
除草	91	53	53	53	53	
施肥	64	117	109	109	109	化成肥料は肥料代のみ。散布作業はOB会(機械購入要)
殺虫殺菌	32	0	0	0	0	発生次第で費用発生
撒砂	76	49	49	49	49	
エアレーション	0	31	31	31	31	芝生の土壌に穴を開けて通気性を改善し、根の健康を高める作業
播種・播き芝	0	0	0	0	0	
成長抑制剤	0	37	37	37	37	伸びすぎを抑えつつ、密度と根を強化して芝生の質を上げる
張替	209	50	50	50	50	グラウンド周辺に芝生養成場所を配置し、張替え時はそこから新しい芝を供給する
阪神園芸管理費	39	39	39	39	39	芝生管理補助アドバイザー業務(4月~12月の毎月、芝生状態をチェックし、大学に報告書を提出)
燃料・ごみ処理など	7	8	8	8	8	過去4年の平均値である8万円/年とおく
機械保守・修理等	20	15	47	15	20	スプリンクラーを毎年2か所修理。芝刈り機保守点検を2年に1回。
その他	スプリンクラー:15					
	芝刈り機:5					
支出計	538	399	423	391	396	
大学育友会補助	95	95	95	95	95	
OB寄付	5					
その他						
収入計	100	95	95	95	95	
単年度収支	-438	-304	-328	-296	-301	

大学基金残高(年度末)	600	296	-32	-328	-629
--------------------	------------	------------	------------	-------------	-------------

(4) 収支シミュレーションに対する現状認識

- ① 過去の使用状況では使用頻度の高いほどグラウンドの傷みが激しいことが明らか。
- ② 深江グラウンドは天然芝であり継続的なメンテナンスが不可欠である。
- ③ 天然芝の維持管理には専門家の力が必要であり、これまで阪神園芸のサポートを得てきたが、今後も継続してお願いする必要がある。
- ④ 阪神園芸の今後の費用想定では年間維持費は2026年程度(年間4百万円)の金額が必要(前頁表の「支出計」を参照)。(維持費にはOBが手弁当で行っている春～秋にかけての芝刈り作業や大学側が負担している水道代などは含まれていない)
- ⑤ 一方、収入は現時点では大学育友会から頂いている補助金(95万円/年)しか見込めない。



このままでは2027年央に芝生維持資金が底をつくことになり、支出の抑制及び新たな収入の確保が不可欠

(5) 今後の深江芝生グラウンドのあり方

- ・深江芝生グラウンドは神戸大学ラグビー部及び同医学部ラグビー部など学生の課外活動のためだけにあるのではなく、地域社会や関西ラグビー界との接点的役割を持つことが重要であると考える。
- ・こうした考えに則り、すでに大阪府(天王寺高校)、兵庫県(神戸高校、兵庫高校)の公立高校による定期戦の会場として利用していただいている。また、地域交流の観点から子供ラグビースクールとの共同イベントを企画している。
- ・同グラウンドが阪神間のラグビーのメッカとして地域に根付いた存在であることを目指し、そのためには永続的なグラウンド保全体制を構築していかなければならないと考える。

(6) 今後の対応策、及び大学への協力をお願いとそれに対する大学からの回答

1) グラウンドに対する大学の基本的な考えの確認

例えば、上記(5)の内容に対する意見をヒアリングする。

【大学からの回答(4/13)】

少なくとも永続的なグラウンド保全体制を構築「していかなければならない」は、大学の命題ではない。

2) 支出の抑制

① OB会によるグラウンド維持管理作業の実施

- ・従来通り、手弁当による芝刈りや芝張替え作業を継続する

外部委託した場合は65.2万円かかる(兵庫県の最低時間給1,116円で換算)

芝刈り(5月～11月、毎週、3人×4時間/回)	37.5万円
芝生張替え(5月、4時間、50人、2026年～)	22.3万円
肥料まき(年4回、4時間、3人、2026年～)	5.4万円
合計	65.2万円

② 大学による水道代の負担

- ・引き続き継続していただきたい

【大学からの回答(4/13)】 異論ない。

【大学からの回答(4/13)】

使用頻度の抑制ルールといったものはない。ラグビー部の使用日数を大きく削るところから始めなければならない。そもそも、深江グラウンド西側使用の調整はラグビー部の学生が主導してやっている。

3) グラウンド使用頻度の抑制

① グラウンド使用ルールの確認

- ・グラウンドを痛める原因となる雨天時や雨天後のグラウンド使用について制限する
- ・グラウンドの同じ場所を続けて使用しないなどガイドラインを提示する

② ラグビー部、医学部ラグビー部の練習頻度の見直し(含む、他の学内団体の使用)

- ・芝生の養生の為に、グラウンドの使用頻度を減らすことを検討(その分、ラグビー部が外部グラウンドを使用する場合の使用料はOB会にて負担)

③ 外部への貸し出し頻度の見直し

- ・②と同様の主旨で貸し出しを抑制する

④ 他の学内団体への使用頻度抑制の協力を要請

- ・②と同様の主旨で使用を抑制する

【大学へのお願い】

学内団体の使用、および外部への貸し出し実態を把握するために、現在の利用／貸し出し状況のデータを頂く(日時毎、使用／貸出先)

【大学からの回答(4/13)】

令和7年度分入手。女子タッチフットボール部、六甲クラブ、芦屋クラブ、芦屋ラグビースクール、軟式野球部が使用。

4) 収入の確保

① OB会(含む医学部ラグビー部OB会)による支援

- ・ 総勢700人を超える会員に対し、現状を理解してもらい、寄付、会費等による支援を要請する。

② 他の学内団体の協力を要請

- ・ 神戸大学基金・芝生化推進口座への寄付を要請する。

【大学からの回答(4/13)】

公認課外活動団体及びOB会で連携して、芝生の維持管理のお金を出し合うという点では問題ない。

③ 外部のグラウンド利用者に対し、協力を要請する

- ・ 現在、グラウンド使用料は芝生であることの考慮は特にされておらず、他の施設と同様に安価である(一面:3,091円/時間)。
- ・ 使用料とは別に芝生グラウンドエキストラを加算する。
具体的な徴収方法として、神戸大学基金・芝生化推進口座への寄付という形とする。

【大学からの回答(4/13)】

非常に問題のあるスキームです。貴会が各外部利用団体に対して追加請求するような意図を反映させることは大学としてはできかねます。

④ 現役部員の父兄に対し、協力を要請する

- ・ 神戸大学基金・芝生化推進口座への寄付を要請する。

⑤ グラウンドの命名権、企業広告(グラウンドに企業広告を掲示等)による徴収

- ・ 本件は大学の意向を確認した上で着手する

【大学からの回答(4/13)】

責任分界点を越えた内容となっています。当該取り組みは貴会を中心として進めるようなものではなく、大学の経営的視点に基づいて進めるものです。手を挙げてくれる企業が実際にあったから話を聴いてほしいということならともかく、そのような戦略を立てるための打ち合わせには応じかねます。

⑥ 大学による支援金

- ・ 何らかの形でグラウンドに対する支援金を頂戴できないか。

【大学からの回答(4/13)】

2017年の芝生化計画が立ち上がった際に、学内の認識としては「今後も含めて大学からの持ち出しは一切発生しない」とされています。当時の学内会議(理事懇話会)でも別添のような資料が提出されています。ラグビー部側で全てを担っていくという前提の下で始まったプロジェクトです。金銭の工面を要求されるようであれば、当初の約束から逸脱したものとなります。よって、支援金の計上は致しかねます。大学からの支援金の計上や外部使用団体への追加徴収等のご相談には根本的に応じられません。

(7) 作業スケジュール、および分担と手順

1) スケジュール

4月OB総会・・・本件の問題意識及び進め方についてのコンセンサスを得る。

秋に理事会・・・対外交渉の進捗状況を取りまとめ報告。

OBに支援いただく金額及び集め方のガイドライン提示。

来年OB総会・・・OBの具体的な支援内容について結論を出す。

2) 作業の分担案(敬称略)

① 医学部ラグビー部との折衝窓口・・・田中顧問

② 外部グラウンド利用者の折衝窓口・・・坂下会長

③ 現役部員の父兄の折衝窓口・・・有明理事

④ 企業寄附・HP広告窓口・・・調整中

⑤ 大学との折衝窓口・・・板垣理事

⑥ 阪神園芸との窓口・・・福本理事

⑦ 作業全体とりまとめ、各種データ収集など・・・遠藤理事

坂下会長、大野副会長、遠藤事務局長は①～⑥の節目節目で参加

3) 作業手順案

- ・ ①～⑤を同時並行でスタートすることは危険ですので、まず、①と⑤からスタート

4月のOB総会までには相手と接触した上で一次感触を総会で報告

- ・ ②、④は大学の了解を得てからスタート

- ・ ③は他の進み具合を見た上で始める

以上

【議案 12】 事務局からのお知らせ

(1) 森岡前監督への学外功労者に対する感謝状の贈呈

・森岡前監督の14年間のラグビー部監督活動が認められ、神戸大学学長から、課外活動における学外功労者に対する感謝状が贈呈されました。感謝状贈呈式は2026年3月16日(月)に六甲ホール(神戸大学百年記念館内)で開催されました。

URL: <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20260316-67658/>

(2) 大学基金への Web を利用した寄附

・「深江グラウンド芝生化口座」、および「課外活動支援募金・ラグビー部」への Web を利用した寄附が可能となりました。ホームページに案内を出しています。

URL: <https://koberfc-official.com/information/6988/>

(3) 深江グラウンド芝生張替え作業

5月1日(金)、2日(土) 9:00～ 半日、小雨決行

ご協力していただける方は、次の URL(調整さん)に登録をお願いします。

URL: <https://chouseisan.com/s?h=3c2cc7960bdf4bfb7ca26ff7329b838>

(4) ラグビーフェスティバル 2026

6月13日(土) 深江グラウンド。現役も交えての世代別タッチフットボール(任意参加)と懇親会中心のフェスを予定しています。詳細はホームページで。

URL: https://koberfc-official.com/ob_info/6945/

(5) 試合予定

・5/17(日) 定期戦 vs 甲南大学 11:00KO @甲南大学六甲アイランド G

・6/21(日) 三商大戦 vs 大阪公立大学 KO 未定 @大阪公立大学杉本キャンパス G

(6) ラグビー部ホームページ

・以下の URL からアクセスできます。

【ホームページ URL : <https://koberfc-official.com/>】

(7) OB 会員ページのパスワード変更

【現行パスワード : ryosorugger2025】 → 【新パスワード : ryosorugger2026】

・パスワード変更日時 : 2026年6月1日

・OB 会会員名簿はセキュリティーを勘案し、このホームページには掲載していません。
名簿に関しては事務局までお問い合わせ下さい。

(8) OB 会会員名簿の更新

・住所、電話番号、メールアドレスなど名簿内容に変更のある場合は事務局にご連絡下さい。

(9) OB 会事務局連絡先

・〒666-0115 川西市向陽台 3-5-92 遠藤自宅

電話: 080-9293-6003

メールアドレス: kobe.u.rfc.ob@gmail.com

(10)2025 年度卒業生

氏名	読み方	学部	出身高校	進路(就職先・進学先)
陶山 翔翼	スヤマ ショウヨウ	経営	修猷館	伊藤忠商事
島田 颯太	シマダ ソウタ	経済	長岡	住友電気工業
初谷 優成	ハツタニ ユウセイ	理	神戸	神戸大学大学院理学研究科
松尾 温斗	マツオ ハルト	海洋政策	兵庫	神戸大学大学院海事科学研究科
福永 翔翼	フクナガ ツバサ	工	久留米高専	神戸大学大学院工学研究科
二川 奈々	フタガワ ナナ	国際人間	西京	NTTドコモ

以 上